

道 徒 の 聖

一九五八年五月十七日第三種郵便物認可(毎月一回一日発行)
第二巻(号)一九五八年五月一日発行



1958

5月号

末日聖徒イエス・キリスト教会

目次

「聖徒の道」

一九五八年五月号

「大管長メッセージ」
 常に教会員を守護せよ 一頁
 創主は律法を通して働き給う 三
 「伝道部長メッセージ」
 神権の働きのなしには真の理解はない 四
 人生の目的は神の如くなること 六
 「GEMS OF THOUGHT」
 すべての人、言逃れあることなし 七
 若い人の間に見られるふしだらな諸行 八
 主の誠命を厳守するは「盲目的な従順」ではない 九
 発掘された死海の書(完) 十一
 「質問欄」
 安息日は日曜か土曜か 十四
 「信仰と証詞」
 証詞 . . . 福岡 青木邦予 十八

感謝と証詞 . . . 新潟 阿部てい 十八
 証詞 . . . 新潟 熊倉裕一 十九
 (表紙の説明) 才五代日大管長ローレンツ・スノ 十九
 「系図のページ」
 伝道部系図組織 二一
 貴方々の協力を期待する 二二
 伝道本部に系図図書室設置 二三
 モルモン経物語(七) 二四
 「ニュース欄」
 良き一とぎを送る(甲府) 二八
 三月の諸会合(山形) 二八
 三宮扶助協会成立 二八
 素晴らしい結実(新潟) 二九
 楽しいバス旅行(岡町) 二九
 福音研究クラス(西宮) 二九
 東京中央支部の民間外交 三十
 伝道本部より 神権授与 結婚 宣教師移動 三十
 バプテスマ 三十
 日本伝道部の回顧(一) 東京 奈良富士哉 三一
 「詩藻」 詩 短歌 三一
 編集言 三三
 教会幹部の人事異動 三三

大管長

メッセージ

常に教会員を守護せよ

デビッド・オ・マツケイ大管長



「教義と聖約」の第廿章には次のように定義してある。

「教師の義務は常に教会員を守護し、彼らと共にあり

て彼らを強くすべきものとす」

「また教会員の中に邪曲なきよう、互いの間に頑固なることのなきよう、また虚言、陰口、悪口などもなきよう注意すべきものとす」

「また教会員のしばしば集合することをはかり、またすべての会員にその義務をつくすようになさしむ」。(教義と聖約廿章五十三節―五十五節)

以上の義務を注意深く分析してみると、ワード部の「教師」は次の六つの資格すなわち見張人、強める人、仲裁人、案内人、模範を示す人、および指導者の資格を有つてゐることが明らかになる。誰がワード部の「教師」になるために召されるべきか。神権を有つてゐる者は誰がこの召しを受けても差支えない。

私の兄弟たちよ、この任命を受けるあなたが第一に為すべきことは、自分に気をつけてみることである。あなたに教える準備ができてゐるかどうかを考えてみることである。自分自身が知らぬことを誰にも教えることができない。イエス・キリストが世の

人を贖う暇いまであり、ジョセフ・スミスが神の予言者であり、そしめてこの最後の神権の時代にジョセフ・スミスに父なる神とそとの御子が親しく姿を現わしたもうたということこそあなたが教えるべき義務である。あなたはそれを信ずるか。あなたはそれを痛切に感ずるか。その証しはあなたが家へはいる時に、あなたのからだから八方へ放射する。もしもそうならば、その放射はあなたが教えに行き、教会員に生命を与えるにちがいない。もしもそうでないならば、聖徒らがその中で成長する霊的環境の欠乏とこ湯と欠如とがそこにあるにちがいない。第二に、あなたの心の中には陰口と他人に対する悪感情は少しもないか。教会員の中に陰口のないように、また邪曲なことの無いように注意するのがあなたの義務である。あなたは自分自身が痛切に感じてゐることだけを有効に教えることができる。「教師」の為すべき準備の一部分は、以上に挙げたようなことを自分の心から無くすることにある。その後、身も霊も神々しい平和に満ちて、家々へは行って行って教会員に教えなさい。

完全な準備に三つの知識……しかしその状態は最初の状態にすぎない。完全に準備をするためには、また他に三つのことを覚えていなくてはならない。その一はあなたがこれから教える人々に就いての知識である。その二はあなたがこれから教える事に就いての知識である。その三は、あなたが教えようとしてゐる方法に就いて少くとも深い思慮と祈りとによつて得られるだけの知識が必要である。

あなたが今教えようとしてゐることはイエス・キリストの福音である。あなたが何か伝えるべき特別な言葉を有つてゐるならば、例えて言えばそれが「自分の一」のことであるならば、あなたがそれを矛盾することなく教えることができるかどうかを知るため、まず「自分自身に気をつける」ことによつてその原則を研究しなさい。もしもそれが祈りのことであつたならば、祈りに就いて「自分自身に気をつけ」なさい。あなたは出て行って祈りに就

いて伝える言葉を教える前にひざまずくか。あなたは、その生活に少々疑わしいところがある若者が祈りに対してどのような態度をとるかを知るためにその若者に気をつけて見るか。あなたは祈りの必要を悟るようなこのような若者を導く何事かを語るために靈感を与えたまえと神に祈り求めるか。

ワード部の「教師」が伝える言葉は、また特にその言葉を述べる時の述べ方は、新しく改心してこの教会に入った人々に述べる時とは同じでないかも知れない。各家族が別の家族と異つていようように、一家の中の一人一人は各々他の者と異つていよう。そのように、われわれの伝える言葉とわれわれの採る方法、特にわれわれがその言葉を述べる方法は異なるかも知れない。

私がこの例を挙げて言うのは、われわれが教えようとしている人々を知るのがわれわれの義務であるというこの考えをわれわれの記憶に留めようとしているだけのことである。われわれがそれをどのようにするかは、主の靈感が助けて教えたもうにちがいない。

教師の義務をどう果すか。教師の義務は、「教師」が各家へ一月に一度だけ行くとき果されるのではない。

私は愛する者を失つた家へ直ちに行つて、嘆き悲しんでいる人々へ慰めを与えるために何が出来るかを知ること、監督がワード部の「教師」たちの義務にした時のことを記憶している。

一月に一度だけではなくて常に「教師」であれ、あなたにその責任のない時間は一日中片時たりともないのである。あなたに責任がない時、また出来るならば、教会の会員の中のある家族をもつと良くまたもつと幸福にするために何事かをすることがあなたの義務であると感じてはならない時は一週の中に一日たりともない。欠乏することのないように注意するのが「教師」の義務である。もしも病気があつたらば行つて「灌油の式」を行い、そしてこれらの家族を常に守護しなさい。

私個人の経験から、私と私の兄弟が二人とも十代であつた或る日のことを思い出す。私たちはまさに畑に出て行くとしていた。父が外へ出て来て門を閉めさせて見上げると、二人の男が家の方へやつてくるのを見た。父はこの二人がワード部の「教師」であることを知つた。

父は言つた。「息子らよ、ワード部の「教師」が来た。車を曳く馬をしぼつて家へはいれよ」と。私たちはこれに異議を唱へたが、結局その言葉に従つた。そして私たちは一族として席に着き、父が「さて兄弟たちよ、私たちは君たちの支配下にある」というのを聞いた。私はそつくりそのまゝを述べる。私今その「教師」たちはまずワード部の監督であつた父からはじめて、父はその義務を果しているかどうか、父は隣人と調和して暮しているかどうか父は現在教会の幹部を支持しているかどうかとたずねた。二人は、母に義務を果しているかどうかに就いてたずね、次に子供たち一人一人に質問をした。

これらの「教師」は、その義務の一部分を強調した。まず私の父はこれらの「教師」に服従した、それは二人が私の父（監督）を代表するものとして訪れ、またどの家へもその資格で行くにちがいないからであつた。この二人の義務は「各会員がその義務を果す」ことを知るにあつた。それには氣転が要る、従つてあなたたちの中には「教師」たちがそのように質問するのは教会員の感情を害すると言う人もある。しかし、主は私たちに正にその事をせよと仰せになつていふ。

ワード部の教師の行爲

ロシアンゼルス神殿の献堂式の開催中、ある朝のこと私たちが神殿へ入りつた時に「あそこに一人の老婦人が歩道を歩いておられますが、明らかにあなたにお目にかかりたいのです」と誰かが言つた。この老婦人は歩いていて手が借りたくてはならなかつた。私たちは道をとつてかえして、丁度その婦人と連れの人々が神殿の北口へ行く階段を上つて来たところでお会つた。私たちがその婦人と握手をして挨拶を交わし、それが

らその短い時間にできるだけのことをした。そのため「この方々はあなたの御立派な二人の息子さんですか」と尋ねた。するとその婦人の左りの方に居た者が「いいえ、私たちがこの方のワード部の「教師」です」と答えた。

これは教会員を常に守護するという何と美しい実例であろうか。この二人は、この老婦人がその日の礼拝に出席したいことを知っていた。私は、この二人が老婦人をここまで連れて来るためにどのような援助を与えなくてはならなかつたか知らない。二人はおそらく自動車を一台手に入れなくてはならなかつたであろう。私はこの婦人に息子があるかどうか知らない。私は、私が会話したことだけを知っている。しかし、この二人は老婦人のワード部の「教師」であつて、二人は老婦人の必要なものを知っていた。

あなたたち監督の代表者、すなわちあなたたち「教師」は各個人に接触する人たちである。また改心をさせ、慰めを与え、教えを授ける責任がかかっている人たちである。ワード部の「教師」は第一線に立つている。あなたの方ワード部の「教師」に割り当てられたあらゆる集団の中には不具になつた老人たちがあるかも知れない。また心がぐらついていて道徳的援助を必要とする若い人々があるかも知れない。とにかくどうかしてあなたはそれらの人々と接触して援助を与えることができる。すなわち、あなたが正式の訪問をしに行く時だけでなく、またラジオやテレビジョンの前に腰を下ろしている。時だけでなくて、何かの集りで、どうかして、これらの人々がどこへ行こうとし



ていようと、これらの人々と連れになりたまえ、これらの人々の信頼を得たまえ、これらの人々の腕をとりたまえ、すなわち「常に彼らを守護」したまえ。

で、また世の人々が霊的暗黒に巻き込まれていたので永遠なる天父に在すエロヒムにとつて御自身が親しく願はるる事によつて時満ちたる神権時代を開き給う事が必要となつた。

ゼフ・スミスが福音の第一原則は神の御性格を確かに知る事であると心に感じた

創主は律法を 通して働き給う

また神は御自身が創り給うたあらゆる世界を支配する律法をも作用するようにし給うたのである。

ミルトン・R・ハンター

なる御方であると信じている。言葉を換えて言えば、神の見給うところ聞き給うところには限りがなくまたその知識には全く限りがないのである。

が願はるる事と、完き福音の回復とにより、末日聖徒は神が全智全能の御方であるという見解をうけ入れている。確に神はたゞ為そうと欲し給うこと以外に為そうと心に掛たもうことはないのである。しかしながら神はいつも自然の法則を通して働き給うという事を我々は信じている。我々はまた神は無数の永遠なる律法を知り給ひ、而してこれらの律法に関する知識とその知識の素樸的な運用によつて人間にとつて

我々はまた神は我々が夜、私室でなす事も、我々の心の中にある秘めたる思いも読みとり給うことができたる大いなる無限の力を有ち給う御方であることも信じている。

ワイド部の「教師訪問」をする際には、今義務をおろそかにし、氣力を失い、落胆をし、悲しんでいる人たちの心の中に、一新された生活と教会活動に再び入りたい願いとを自覚めさせる全世界最大の好機会があると私は信ずる。教会活動によつてこれらの人々は、これらの人々の身も霊も高め、力を与え、今束縛している弱さに打ち勝つにちがいない霊的環の中へ間違ひなく連れ戻される。あらゆる個人に援助を与え、はげまし、靈感を与えることは、ワイド部の「教師」の有つ偉大な責任でありまた特権である。

「教師」たち諸君よ、あなたたちの召しは大切な召しである。神よ、あなたたちがその召しに忠実であるように助けたまえ、またこの最後の神権の時代に於て神の御業をつづける責任の一部分があなたたちの肩にかかつていることをあなたたちが痛切に感ずるよう 助けたまえ。

伝道部長メッセージ

神権の働きなしには

御教の眞の理解はない

ポール・C・アンドラス 伝道部長



新衛星などの発展および月世界旅行などは今日世界のニュースの中で人の注意を引く主な事項であります。

地球上にあるほとんどすべての人々の注意は、これらの目をおどろかす科学上の業績に関係ある諸

発見やいろいろの出来事に集中していません。しかしながら、人類の福祉にとつてはるかに大切な二つの出来事が百二十九年もの間ほとんど見すごされてきたことは、まことに残念なことでありま

す。

○・・・一八二九年五月十五日の出来事・・・
千八百二十九年の五月十五日に、全能の神の御前から一人の使者が来てアメリカ合衆国ニューヨーク州に於て二人の若者を訪れ、この二人にバプテスマを施す権能と物質上の事がらに於て神を代表する権能とを授けました。その後間もなく更に三人の使者が全能の神の命令を受けて来り、この二人の若者に靈に就ける事柄に於て神を代表する権能を授けました。天の使者が訪れたというこれらのことは、立派な証拠がある歴史上の事実であります。またこれらの使者が二人の若者に授けた神を代表する権能は、地球上に住むすべての人々の生活に光明を与え喜びを与える力があります。まことに、この世に住むすべての男の人々がこの権能（神権）を受けて以て正しく使うことは、天にまします私どもの父のみむねであります。またこの世に住むすべての女の人々が、それぞれの家族の中にある神権保持者を通して、各々の生活の中でこの権能（神権）の祝福を受けることも天にいます私どもの父のみむねであります。

○・・・神権を持つ者、その人は？・・・

神権をもつ者たちがその生活の中へ義を入れることによつて、神権は彼らの生活に数々の祝福をもたらします。義とは神の御教えを実行すると定義してもよいでしょう、そして誰でもその生活を神の御教えに一致させる時その人は眞の喜びを経験しはじめるにちがひありません。特に誰でも神が完全なお方であること、全人類は文字通り神の子供であること、神はその子供らがみな救われることのできる救いの計画を立てたもうたこと、そして神はこの救いの計画を神の子供らに啓示したもうたことに気付くようになること、その人は計り知れない価値のある知識を受けているの

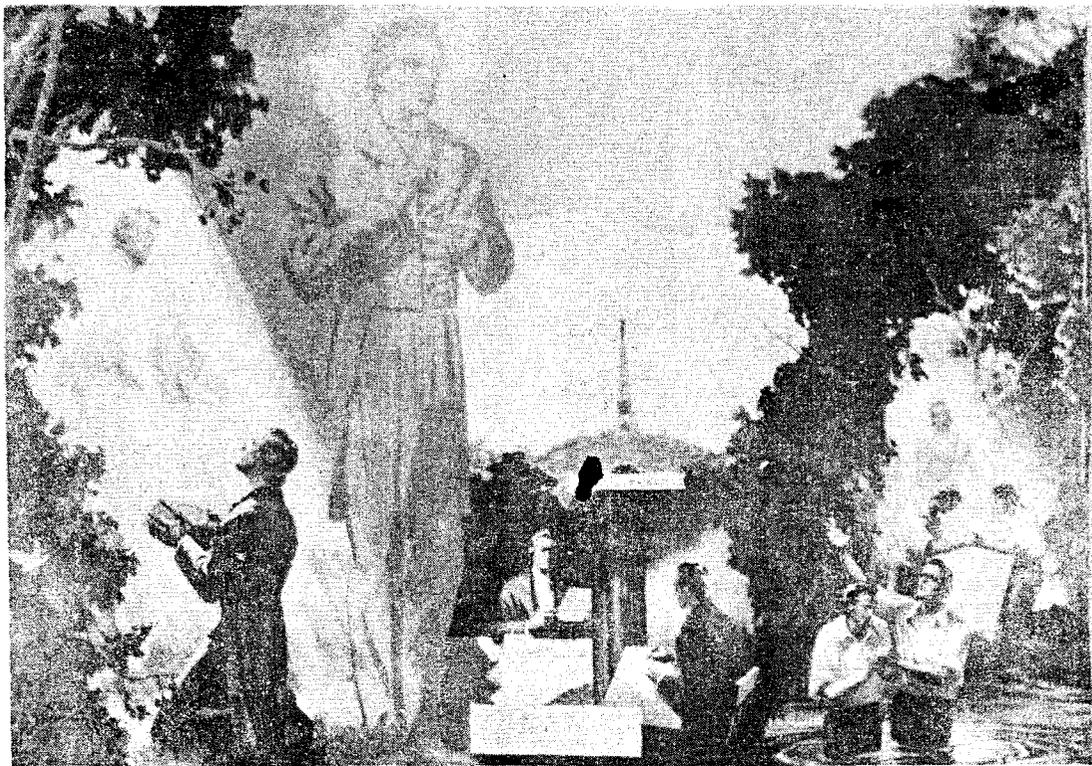
であります。このような人が、それから救いの計画の詳細を学び始め、更にこれらのくわしい御教えにその日常生活をきちようめんに一致させつづけるときに、その人は以前よりも一層義しい人になります。すなわち完全ではないが前よりも完全にひとときわずつと近くなります。

その人は過去の罪と過ちとを捨ててバプテスマを受け、神の真の教会と王国とに加わります。その人は個人的純潔を嚴格に守り、道徳上汚れない人であります。その人は自己の収入の完全な一割を主に納め自己の利益を思いませぬ。その人はアルコールを含む飲みもの、タバコ、茶、コーヒーを飲まず、従つてめぐみを受けて肉体の健康を増進し精神は活潑であります。その人は隣人を正しく取扱ひ、隣人から真の尊敬と愛を受けます。その人は無料で教内への責任ある地位を引き受け、他の人々に救いの計画を教えることに専念いたします。従つてその人は自分を愛し尊敬する数多くの友人をめぐまれます。

その人はいと高き神の神殿の中で自分の妻子と結び固められ、自分と妻子とが忠実に神の誠命を守るならばその一家族は永遠に続くこと知る喜びを受けます。その人は系図の研究をして、救いのために必要ないろいろの儀式がすでに亡くなつた自分の血縁の者たちのために執り行われることがわかります。その人はこれによつて血縁の者から永遠の感謝を受け、自分が行つた働きに与えられた大きな喜びを感じます。その人の生活のあらゆる面は新しい光彩を帯び、その人は心の中に真の喜びと幸福とをもつて、人生のあらゆる経験を経験します。その人は世の中の人と仲良くし、隣人を愛します。

○・・・平和の代価は義であります・・・

平和とまた愛と調和とをもつて共に生活する能力とは世界中で最も大きな必要であります。この大きな必要は、地球の新衛星や誘導弾やまたは宇宙旅行の乗物の必要をはるかに抜き出でています。しかし、平和の代価は義であり、また神権がなかつたなら、



神権の働きなしには神と神の御教えの眞の理解は得られるはずがないという簡単な理由で義のあるはずがありません。従つて、新訳聖書の中でバプテスマのヨハネと言われている偉大な指導者が神の御前から来てつてジョセフ・スミス(二代目)とオリヴ・カウドリとに千八百二十九年五月の十五日にアロン神権を授けたときには、全世界にとつて

最も大切な出来事でありました。数週間後に三人の古代の使徒ペテロ、ヤコブ、ヨハネも神の御前から来てつてこの二人の若者にメルケゼデク神権を授けたときは、これも前と同じく全人類にとつて最も大切な出来事でありました。全世界の民の中で九十九・九五パーセントまでこれらの偉大な出来事がかつて聞いたこともないのは全く残念なことであります。さりながら、これらの出来事は比較的短い年月の中にその本当に重要なことが今に世界中に認められるにちがひありません。

・偉大な出来事を再考せん。私たちは末日聖徒として五月と六月中に、今から百二十九年前に起つた偉大な出来事の意義を再びよく考えようではありませんか。また私たちは、この末日の時代に数々の予言者と数々の神権保持者を通して完全なままに回復された救いの計画の中にある御教えを、

秘密に私たちの生活と一致させるよう新しく決心しようではありませんか。また義がなくては神権の祝福が失われるにちがひないことをいとも忘れないようにしようではありませんか。「見よ、召さるる者は多けれども選ばれる者は少し。選ばれることなきはこれ、そもそも何の故ぞ。そは、人々の心甚しくこの世

教会の青年男女の皆様、私達は・・・あなたが自身の生活の目的は神の如くなる事であるという事に着目されます様、御願ひするものである。

ミルトンは「人生の主なる目的は神を知る様になる事である。而してその知識によつて神を愛しまた神の如くなる事である」と語っている。

は 神の如くなる 人生の目的

十二使徒会補助

長 老 ヒュー・B・ブラウン

あなた方は神のような属性を有つているが故にあなた方の進展には限りがないという事によく留意して頂きたい。そしてそれにふさわしい生活を営みなさい。清くま



聖霊は常に汝の伴侶となり、汝のしやくは真理と正義の変ること なぎしやくとなり、汝の支配は永遠の支配となりて強いらるることなく永遠に汝に流れ込まん」。

格と一段と高い誠実さと、靈的な事柄を見抜く一層大きな力と非のうちどころがなく又ゆるぎのないまごころとこの原子力時代の邪魔物に抗する際に義しい活気のある信仰が必要である。それらをかちうるために前進しなさい。そうす

(教義と聖約百二十一章 四十五節―四十六節)

に属けるものの上であり、唯々人間の誉を得ることのみを望み、次の如き一つの戒めを知らざるによる。曰く、神権の権能は天の能力と固く結びつきて離るべからざるものにして、天の能力は正義の原則によりてのみ支配し運用し得るものなり、と。この権能のわれらに与えらるる事もあらんは真実なり。されどもし己が罪を蔽いかくさんとし、われらの高慢、空しき野望を充たさんと企て、または幾分にて正しからざることによりて人の子らを支配し、統御し、強制せんとする時は、見よ諸天は退き去り、主の「みたま」悲しむ。主の「みたま」退き去らば、神権またはその人の権威は終りなり。見よ、その人いまだ覚らざる前、独り置かるるままにとげあるむちをけり聖徒を迫害し神に逆きて闘をなす。おれら悲しむべき経路によりこの事を知る。およそ殆んどすべての人間は、少し許りの権威を得たりと思ふや、忽ち正しからざる支配を始めんとする生れつきの性癖あり。これすなわち、召さるる者多けれども選ばるる者少き所以なり。如何なる権力も勢力も、神権によりて維持する能わず、または維持すべきものにあらず、ただ説服と堅忍と偽らざる愛とによる。また、親切と淨き知識すなわち偽善にあらずしてその人甚だ大いならしむるものによる。すなわち、聖霊に感動しては機に臨みて激しく人を責む。然る後、また彼の汝を敵視せざらんため責めたるその人に一層の愛を示す。かくて、彼は汝の誠実は死のきずなよりも強きことを知るべし。すべての人に対して、また信仰ある家族に対して汝の腹中を滋養にあふれしむべし。絶えず徳を以て汝の想を飾るべし。然る時は、汝の自ら信ずること神の前に強くなりて、神権の教理は天より下る露の如くに汝をうるおさん。聖霊は常に汝の伴侶となり、汝のしやくは真理と正義の変ることなきしやくとなり、汝の支配は永遠の支配となりて強いらるることなく永遠に汝に流れ込まん。

(教義と聖約 第二百二十一章卅四節―四十六節)

GEMS OF THOUGHT

すべての人、言逃れあることなし

十二使徒会補助



スターリング・W・シル長老

私が知る限りに於て、今日の世界で最も大切な事は神がまたまた神権を回復し給い、而して

「然らば汝ら往きて、もろもろの國人を弟子となし、父と子と聖霊との名によりてバプテスマを施し、わが汝らに命ぜし凡ての事を守るべきを

教えよ」(マタイ伝二十八章十九節)

と重ねて仰せになつて神聖なる委任をなし給うた事である。アモスは多くの人は「あちらこちらとはせまわりて主の言を求めん、されどこれを得ざるべし」と云つてゐる。

ある人々が主の御言葉を見出す事ができない理由の一つは古えの時代と同じく、その幾人かは見えない目をもつてゐるからである。また主の御言葉に他の人々を近づかしめるものをもつてゐる我々の中のある人がその光をますの下にかくすためにある幾人かは主の御言葉を見出す事ができないのである。また我々自身の生活が主の教えと一致していない時に混乱を起して主の御言葉を見出す事ができない人もゐる。

この福音の回復という事は地上に住むすべての人々の生活に重大な意義をもつてゐる。この事実は見過しにする事も避ける事もできない事である。この責任を我々は理解し悟らなければならぬ。この末世に与えられたあらゆる聖句の中で最も意義ある一つ

の聖句の中で主は「故に人言逃れあることなし」(教義と聖約八十八章八十二節)と仰せになつて居られる。そしてこの聖句は福音を聞き入れなかつた人、更にもつとせんじつめて言へば主の御言葉に救えなかつた人々にも通用するのである。何となれば靈に關する真理を分ち与えるよう神よりの委任をうけた人々は「もし我福音を宣べ伝えざれば禍なるかな」とパウロが言つたようにいつの日かその罪のつがめにもまた与からねばならないからである。

それであるから私達は……私達の心が明らかに天より示された主の御言葉に大いなる力と勤勉さと信仰とをもつて固く結びつき……あらゆる人々が永遠の生命の澄める清水を見出し得るようになり、そして我々が福音に従順なるが故に神がその子供達を皆御自身のもとに引きとせ給ひ、日の栄えの王国をうけつぐ事ができるようにされ給わん事を祈るものである。

若い人の間に見られる

ふしだらな諸行

十二使徒評議員会会員

デルバート・L・ステツレイ長老

今日、世の親達が直面している由々しい問題の一つは若い人達の間に道徳上、



ふしだらな行爲がますますつものつてくるような傾向がみられる事である。多くの親達はそのよ

うな状態が現存している事に充分気付いていない。それ故、これらの親達は別段疑うような事でもなく子供達が全くさらし出されている種々なる罪惡に盲目なのである。従つて不注意にもこれらの親達は若い人達の間で行われている不道徳な罪深い諸行に貢献しているのである。

福音 がよく教えられしかも福音に沿つた生活が営まれ、また愛が充ち満ちているよき家庭こそ青年達に眞の人格と道徳の標準とをもたらす大本となるのである。親たる者は……不健全なる力の圧力は本心に心をそよるようにして我々の中に入り込み、また本心に巧妙に我々に作用し、そしてもしもそのような力をうけ入れられるならばそのような力は眞の人格の気高きや人生の悦びや幸福……を築き上げるところの美德をうちこわしてしまふという事を認識すべきである。

親たる者と青年を指導する人達は若い人達が絶えず悩まされている世俗的な圧

力を認識し、人々に従うよう神が与え給うたところの眞の道徳の模範を絶え間なくむしばもうとしている世俗的な罪惡に對して目を閉ぢる事のないようにしなければならぬ。

我々の大いに要望するところは賢明にして且つ理解ある教えと助言とによつて、青年達の心を滅ぼしてしまふ、このよ

うな内に潜んでいる危険より青年達がのがれるように今、青年達を準備する事である。このよ

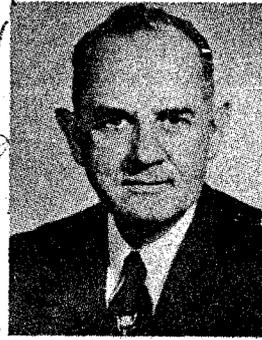
主の誠命を厳守するは

「盲目的な従順」

ではない (上)

十二使徒会会員

スベンサー・W・キンポール長老



一九五四年八月にバルマイラの大野外劇に列席出来た事は、私の特権であり、私は四万人からの人々と共にクモラ岡の入口に坐つて、夜の訪れに伴つて暗くなつた岡を眺めていました。私は多くの予言者、ニーフアイ、ヤコブ、アルマ、そして最後に予言者、リーマン人サムエルを演じた人たちが、世の救主が此の大陸の彼等に來るであらうと予言する声を聞きました。プログラムが進展して最後の段階に達し岡の上に人物が出て來る美しい光景を見る時靈感されました。彼の下が暗いので、恰も彼が白い衣を着て空中に立ち、岡の頂上から吹いて來る微風にゆれているかのようであつた。私は靈感され、その靈感はその時から私の内に留つたのであります。数千の人々が神殿のまわりに集つて、熱烈に空をながめている時、この地に救

主が來る物語が演ぜられました。彼等は大声でもまた粗い声でもない貫くような声を聞き、その声は彼の靈魂の奥底迄つき刺しました。三度目にはその声の意味がわかりました。彼等は、

「わが喜ぶ愛子を見よ。われはこれに由りてすでにわが名の榮光を示しぬ。わが愛子に聞け」(ニーフアイ第三書十一章七節)

と言う声を聞きました。それからこれ等ニーフアイの民に現れたお方が言われた。「われはイエス・キリストなり」(ニーフアイ第三書十一章十節) そのとき、またそれより以前にもその後にも何時も彼の人々に対するメッセージは

「夫れ順う事は犠牲にまさり、聴く事は牝羊の脂にまさるなり」(サムエル前書 十五章二十二節)

予言者サムエルは謀反によつてその王国を失つた不従順のサウル王に、このように言いました。予言者はサウルにその敵を打破つてもりやく奪すべきでないと警告しましたが、羊や牛のなく声は、サウルとその民が単純な主の誠命に不従順であつた事を暴露しました。サムエルは打ちこらしました。

「エホバはその言にしたがう事を善したまうごとくはん祭と犠牲を善した

まうや？」

「其は違逆は魔術の罪のごとく抗戾は虚しき物につかうる如く偶像につかうるがごとし」

(サムエル前書 十五章二十二節一二十三節)

サウルは許しを請うた。然し予言者は答えた。

「汝エホバの言を棄てたるによりエホバ汝をすてイスラエルに王たらしめ給わざればなり」(サムエル前書十五章二十六節)

高慢無礼な態度を以て、彼は完全に主の誠命を無視して自分の掌中に把握したのであります。

サムエルはこれを責めました。

「サムエルいけるはさきに汝がちいさき者とみづから憶えるときになんぢイスラエルの支流の長となりしにあらずや即ちエホバ汝にあぶらを注いでイスラエルの王となせり。エホバ汝を途に遣わしていたまわく往て悪人なるアマレク人をほろぼし其尽るまで戦えよと。何故に汝エホバの言きかずして敵の所有物にはせかゝりエホバの目のまえに悪をなせしや。」

(サムエル前書十五章十七節一十九節)

サウルは理屈をつけました。王としてふるまうことは彼にとつて容易な事

で暮りました。
征服された王たちは、何の役に立つた
らう。

けれども何故その肥えた羊を取らない
で居られようか？王としての彼の判断が、
身分の低いサムエルの判断より優れてい
ないだろうか？その言葉に盲目的に従わ
ねばならないと言う、サムエルと言うの
は、如何なる者か、誰が知っているだろ
うか？

今日のイスラエル人の中に、このサウ
ルのような人が如何に多く居る事では
う。

或人は時々一杯のコーヒーを除いて、
健康上の主の啓示に生活しています。ま
た或女性はどう世故女にとつて何の魅力
もない酒や煙草をのまないが慰安の一杯
の茶を必要としている。

人は彼が好きで、そして切望している
活動の為に教会の職に奉仕し、またその
寄附が知れたるであろう献金をするが
困難な自分の一の支払に就て容易に理く
つをつける、彼は病氣や死の重荷に悩ま
されていたので出来なかつたと言う、彼
はまた彼が望むように、常にそのお金が
分配されているかどうかをはつきり知ら
ないと言いわけをする。また誰が彼の失
敗を知っているだろうかと思う。他の或
者たちは或集會に出席します。けれども

安息日に對し、サウルのように理くつをつ
つけます。彼はどうしてポール、ゲームや
映画を見てはならないだろうか？また必要
な庭の作業や、日常の事務をして悪いであ
らうか？また他の者は宗教的に教会の職務
に就きます。けれども彼の家庭生活の不和
に對する如何なる忠告をも拒み、また家族
が團結し難い時に家族の祈りを拒みます。
サウルはそのような人でありました。彼
は自分の都合の好い事をしました。然し自
分の罪みに反する事に対しては言いわけを
見出しました。私たちはよく

「従いたさい、聞きなさい、何て面倒く
さい要求だらう。私が何を着ようと何を
食べようと次もとうと誰も何とも言えない。
誰も私の安息日に適當なかせぎに干渉出
来ない。また私の個人的自由を何等制限
することは出来ない。私は私の好きなよう
にするのだ、私は盲目的な従順者とはなら
ない」と言う声を聞きます。

盲目的な従順者！何と彼等は理解していな
いのでしようか！主はジョセフ・スミスを
通して言いました。

神様の要求される事は、その事がらの如
何に拘わらずすべて正しい。その事が起つ
てから後、長い間、その理由を私たちが知
る事が出来ない場合でも（モルモン文学の
スクラップ、ブック）人々が創造者の誠命
に従う時、それは盲目的な従順者ではありま

せん。全体主義独裁者に臆しながら従属
するのと、人が神に心を捧げて、進んで
従おうとする従順さに神聖化されたのと
如何に相違している事でしょう。独裁者
は野心的利己的であり、腹に一物を持つ
て居ります。神のすべての誠命は正しく、
すべての命令は目的があり、すべてよく
治められる為のものであります。前者は
盲目の従順かも知れませんが後者は明ら
かに信仰の従者であります。

「大祝福師アブラハムは、主によつて
息子イサクを祭壇に捧げるように命ぜら
れた時、涙をのんで忠実に従おうとしま
した。彼は神が究極に於て彼によくない
事を要求し給わない事を知っていました。
そのよい事が如何にして完成されるか、
彼は理解していなかつた。彼は彼が曾て
奇蹟の息子イサクを通じて、多くの民が
祝福されるであろうと約束された事、ま
た神の約束された事は成就するであろう
ことを知っていました。疑いもなく、彼
の心には、若しイサクが清算されてしま
うたら、これ等の事が如何にして、生じ得
るか疑問でありました。けれども彼は主
は正しく、且つ道を備えるであろうこと
を知っていました。主はアブラハムが既
に老人となり、サラが通常のにんしんの
年令を遙かに過ぎて、息子を懐にんする
であろうと言つた約束を成就しなかつた

であらうか？へブル書に私たちは次の文を見ます。

「この故に死にたる者のごとき一人より天の星の如くまた海辺の数ががたき砂のごとく夥多しく生れ出でたり。」

(へブル書十一章十二節)

「信仰によりてアブラハムは試みられし時イサクを献げたり、彼は約束を喜び受けし者なるにその独子を献げたり。彼に対しては「イサクより出づる者なんぢのすえと称へらるべし」と云

発掘された死海の書

末日聖徒に対するその重要性 (完)

ブリガムヤング大学旧約及び文学教授 シドニー・B・スヘリー博士

我々の関心をモルモン経から離すと巻物はへブライ語の綴り、文法、古文書学(古文書の記述または解読法)の点に於て学者にとり大いなる価値がある。或他の巻物もまた同様に此の点に就て価値あるものと期待せられる。

クムランで発見されたすべての巻物は疑いもなくユダヤ教とキリスト教を取扱っている歴史家に価値がある。旧約聖書及び新約聖書の分野に於ける専門家たちは勿論、それ等に非常な関心を持つている。我々末

い給いしなり。かれ思えらく、神は死人の中より之をよみがえらすことを得給うと、乃ち死より之を受けしが如くなりき。」(へブル書十一章十七節、十九節)

神は気まぐれな事をなさらず、不必要な要求をなさらない事を知り、また若し必要あらば若者を死より起上らせる事が出来る事をも知つていながらアブラハムは之れに従い、捧げ物は備えられた。

(未完)

ウズ博士のテキストから)

ラメク巻物の原本は最初開かれなかつたが現在開かれて訳された。それはアラメク語で書かれた創世記の五章から十五章迄を詳述せるものでその内で目立つたものは最初の人に就て述べてある話である。その様式と術語に於てそれはダニエル及び聖書外典のジュビリー及びエノクの一部を思い出させると言われている。

少し本論からはずれるけれど巻物に關し直接上述の点に限定して考察してみよう。

学者達はクムラン共同体が旧約聖書と多くの聖書外典を持つていた事を知つていると言ふ事を心にとどめておかねばならぬ。巻物と新約聖書と其他のキリスト教書との間の多くの類似の表現は共通の根源に起因してゐるのである。

或学者達は巻物がキリスト教に投じた光に就て大きく取上げた。或者はハバククの解説の中に「義の教師」と参照されてゐるのはイエス・キリストであるとさえ主張している。

また他の者達はバプテスマのヨハネはクムラン共同体で学んだと提案している。末日聖徒にとつて関心となるクムランの人々が福音に就て何か知つていたと提案する何か巻物の中にあるだろうか？私が福音と言ふのは我々が通常に此の言葉を解釈している通りを意味する。

日聖徒としては此の巻物が如何なる点に於ても新約時代の事実に就ての我々の知識に貢献する事に特に関心を持つ。

本文の残された部分を私は殆ど下記の巻物の註釈に局限しよう。

(A) ハバククの解説

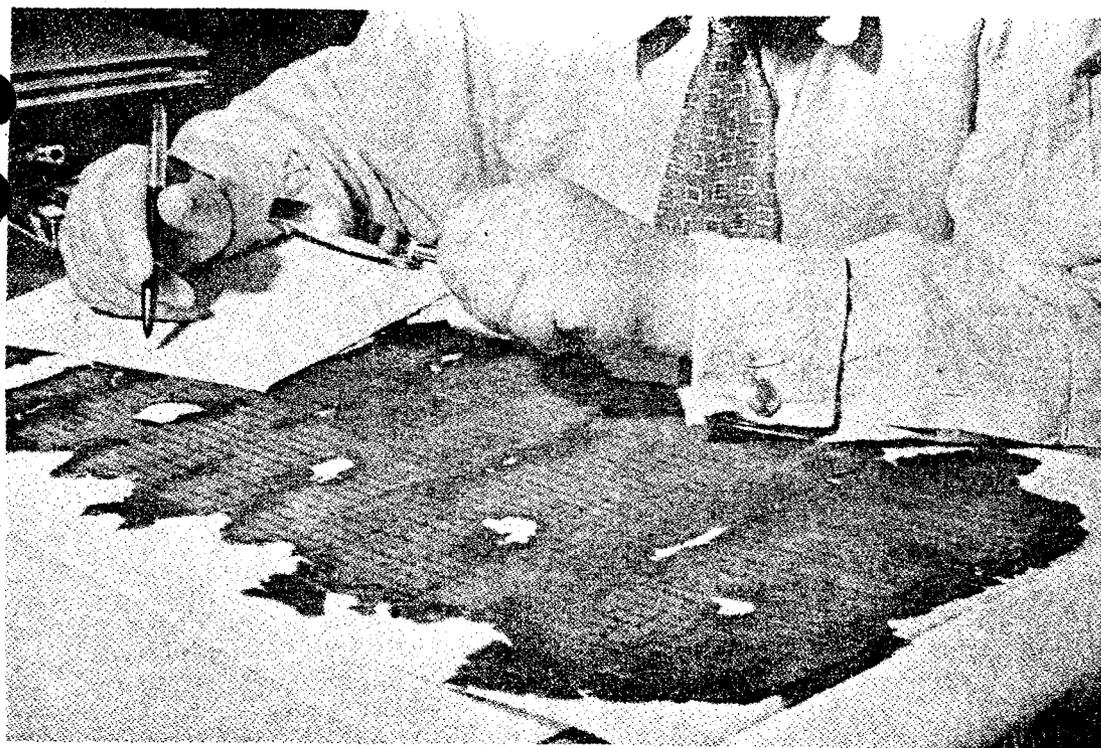
(B) 共同体の紀律書または規則

(C) 光の子等と闇の子等との戦からの抜萃(ミラー、バロウズ博士の訳した、死海の巻物の中に見出される)

(D) 感謝の詩篇よりの抜萃(同様にバロ

(左) B.Y.U. スペリー博士及びヒュー・ニブリー博士が死海の巻物の
直接復写写真を吟味している。

(下) 慎重を要する開巻工作が完成している巻物は研究と鑑賞に備え
られた。



細心の注意を以て巻物を読んだ結果、私はその中には一行もその著者達が我々の理解するよきな福音を知つていたと提案するものはないと言ひ結論に達した。それは旧約聖書の教えに基いてるので彼等が書いた多くのものを我々は称讃出来ると言ふことは真実である。けれども若し彼等が福音の御霊を持つていたとしたら私がそれを認める事に失敗したのであらう。実際に於て巻物の中に彼等が福音の知識を持たなかつたと証明する明確な簡便はわずかしかない。彼等が聖書外典を多く用いている事が我々が着手にあたり疑問を生じさせるのである。

○・・・・・・・・・・・・・・・・○

(一)「ハバククの解説」の中に引用してあるイザヤ書十一章九節(パロウズ三六九頁)に、「エホバをしの知識地にあつければなり」と参照してある。巻物ではここが切り取られてある。けれども私は述べられてある事がその聖文に就ての知識を欠くことを示していると感じられた。この点或程度要領を得ないがパロウズの書と同じ頁に参照してある「偽りの説教者」は同様に彼等が福音を知らなかつた事を物語っている。

○・・・・・・・・・・・・・・・・○
(一) 紀律書(パロウズ 三八〇頁の二

三行から二六行目迄)の中に「正当な理由なくして隣人にけちけちする者は六ヶ月、愚かなる事を口にした者は三ヶ月、罰せられる」と言つてある。この規則はそれ自身の内に何等罪はないか福音を知っている者には実施困難である。三ヶ月及び六ヶ月の刑罰は主が犯罪者を罰するのであらう方法と異なつていようである。若し、これ等の例で不充分ならば読者はパロウズ書の同じ頁の最後の項目に注意されたい。

(二) 紀律書の中のイザヤ書四十章三節の参照及びそれに対する注釈(パロウズ三八二頁十二行一十六行)はクムラン共同体は禁欲主義であることを示しているが、この事実は我々にこれ等の人々が福音を知らなかつたと警告している事になる。イエス・キリストの眞の教会は禁欲主義を育成していない。従つて我々は巻物が初期の教会に多くの光を与えたと期待すべきではない。

紀律書が共有の社会を現していると言う事実が初期キリスト教会の実習(使徒行伝四章三十二節一三十四節)が古代ユダヤの修道派の実習に基いていふと言ふ事または団体の秩序を維持している、キリスト教の律法が如何なる方法に於ても古代ユダヤの修道派を治めるものであつた事を意味するものではない。主がベテロに教会内でそれ

を実施するよきな特別な啓示を与えその治める規則を通知した事は時機を得ている。禁欲の規律は人が造つたものであつた。キリスト教徒のものは神より与えられたものである。

○・・・・・・・・・・・・・・・・○

全身浸礼或はバプテスマの儀式がクムランの人々の間に多く実習されて来た。或學者達はバプテスマのヨハネはバプテスマの思想を彼等から受取つたと思つてゐる。キリストの時代に前にイスラエルの民の間にバプテスマが実習されていたと言ふことは教義と聖約(八十五章二十五節一二十八節を見よ)を読んだ如何なる末日聖徒をも驚かすものではない。クムランの人々は勿論、正当な権能なくして実施してしたのであらう。我々は巻物によつて古代ユダヤの修道派の人々がバプテスマを実習して居た事を知らされる迄もないのである。

巻物は特に新約聖書の學者たちの学校が否定している或事を明確にした。即ち新約時代は文学上ユダヤ人の時代であつたと言ふ事である。死海の西北地区の洞くつが証明した豊富な文学はこの事実を確証している。

この他クムランのテキストがもたらした興味ある事実はヨハネ伝の中に見出される術語及び思想はギリシヤ的であるよ

りも、もつとユダヤ的であると言ふことである。多くの新約聖書の權威者達は今迄ヨハネはギリシヤ的キリスト教を造り出したと言ふ考へに傾いていた。けれどもその思想の平行及びクムラン・テキストとヨハネ伝（及び他の新約テキスト）との間の術語がひんばんに接近している事はこの福音書が四つの内で最もユダヤ的である事を証明している。私は宗教的意味に於て巻物の重要性は學者に對する専門的な価値を除いては權威者達によつて過大視されすぎたと信ずる。その實際的重要性は末日聖徒にとつては比較的に小さい。時が経過し巻物の研究が更に進んだらその實際の価値がはつきりするであらう。この巻物に對するセンセーショナルな叫びは鎮められるであらう。

質問欄



安息日は日曜か、土曜か？

「質問」

私の隣人の一人が、末日聖徒は始めから土曜日として定められて来た安息日を神聖に守つていながら真実のキリスト教徒では無い、人間はこの日を変えることは出来ないと言つた。彼が云うには、主が創造の事業を終えられ、その御業より休まれたのは七日目で、七日目が安息日として永遠に維持されるべきであると定められたにも拘らず、ローマの法王がそれを日曜日に変更してしまい、またプロテスタントもこれに従つたのであると云うのである。我々はこの言葉に對してどんな返答をすべきであるか。

いうまでもなく日曜日

「解答」

これらの質問に對する完全な答は、教義と聖約五十九章中に見出される。この啓示は、ミズーリ州、ジャクソン郡に於て、一八三一年八月六日の日曜日に与えられたもので、この啓示の中で、主はミズーリ州の教会のすべての會員たちに、若し主の誠命を守るなら豊かに祝福を受けるであらうと約束されている。

「またわが前に忠実にして勤勉なる者は、天より祝福をもて冠を受くべく、……」この約束を与えたもうた後、主はシナイ山で与えられた誠命を繰り返して申され、そして安息日に關する次の誠命をつけ加えたもうたのである。

「すべての事に就きて、主なる汝の神に感謝すべし。汝誠実に真にへりくだりたる心と悔いる精神とを以て、汝の神に義しき捧物となすべし。汝なおさら充分に世の汚れに染まざる様、祈りの家に行きてわが聖日に汝の聖式を捧ぐべし。そは誠にこの聖日は、汝の命ぜられて働きを休み、いと高き者に礼拝を捧ぐべき日なればなり。さりながら汝の誓言は、正しく毎日常に神に捧げられざるべからず。されどこの主の聖日に於ては、いと高き者に汝の捧物と聖式とを奉りて、兄弟たちに向い主の前に於て汝の罪を告白するを忘るべからず。而して汝この日には他に何事をもなすことなかれ。たゞ汝が断食を完からしめんため、言い換うれば汝悦びを以て充されんため、真心をこめてその食物を支度することのみを為すべし。」

この誠命を与えられてから、主は従順によつて得られるところのその他の祝福をも約束され、次の如くつけ加えたもうた。

「およそ人何事にも神を怒らせずまたは何事にも神の怒り燃ゆることなし、たゞすべての事の中に神の御手のあることを告白せず、その誠命に従わざる者に神の怒りあり。」

主の日は云うまでもなく、この日に末日聖徒た

ちが一週間に一度の安息日を過すように命じられた日である。末日聖徒に関する限り主はこのように仰せになつたのである。これにより質問は自ら解かれるであろう。以上のことだけで我々が週の最初の日を安息日として遵守するという理由を説明するに充分なのであるが、これだけでは質問者を満足させるものではないであろう。これに他の若干の説明をつけ加えるのなら、教会のすべての会員たちにとつて、總体的に興味ある解答となるであろう。

安息日は土曜日であると信じている人たちは、安息日の迷信を作り出した人たちである。この種の人たちは、古代のパリサイ人やサドカイ人の如き人たちで、人間の身長をプロクラストアイズの寝台の長さに照らして判断した人たちであるように思われる。

(「訳者註」プロクラストアイズ——ギリシヤの伝説で、捕えた人を鉄製の寝台に寝かせ、その人が寝台より長ければ余つた部分をきり、短かければ引延ばして寝台と同じ長さにしたと云う。故に、プロクラストアイズの寝台の長さに照らすとは、暴力を以て規準に合わせることを意味する)

「また言いたまう」安息日は人のために設けられて、人は安息日のために設けられず。然れば人の子は安息日にも主たる

なり」(マルコ伝二章二十七節—二十八節)

安息日にも主たる御方は、日を変更したもう神の権能を有したもうのであり、事実主はその如く為したもうたのである。

「時」に関する人間の計算方法

まず第一に、創造の七日目と、今日に於ける第七日目とは、殆んど相互の関連が無い。前者はコロブの計算に従つて定められた日であり、このことに関しては、アブラハムに与えられた啓示より次の事を知ることが出来る。

「されど、善悪を知るの樹よりは、取りて食うべからず汝これよりとりて食う時には、必らず死ぬべければなり」と。さておれアブラハム、時は主の時に等しきを見たり。その時はコロブの時に等しかりき。そは、いまだ神々アダムにその時の計算を命じたまわざりければなり。」(アブラハムの書五章十三節)

今日に於ける「時」がエデンから放逐されたアダムに直ちに与えられたものが、若しくは徐々に与えられたものか、誰れも知らない。また主よりの啓示が無ければ、今日の計算に於てどの日が最初の日であり、どの日が最後であるかも知ることは出来ない。更に、洪水前の時代に於て、どの日が最初で、どの日が最後であつたかなどとい

うことは、全く問題では無い。我

々に伝えられている聖書の中には、シナイ山で主がモーセに語りたまふ前の時代に、安息日の遵守があつたなどということに就いて殆んど証明が見出されないし、たとえヘブル人の一週間とヘブル人の安息日が今日の「時」の計算に一致するとしても、今日の安息日が救主の時代に於けるヘブル人の慣習に一致しなければならぬということはない。

時が過まつて計算されたため、日が暦につけ加えられ、更に地球上のある所に於ては、人間は自分に都合の良いように時を定める必要性を感じているのである。このような両極から引かれた東経または西経百八十度の子午線—日付変更線により、この線を中心として位置する島々は同じ太陽がその上を照らしているにも拘わらず異つた日に夫々安息日を過しているのである。

古代に於ける聖徒たち

イエスが復活された後の教会の会員たちは安息日を一週間の最後の日から、最初の日に変更し、キリスト教徒たちはその時より、このならわしに従つて来ている。救主はユダヤ人の安息日の間中墓の中に居られ、一週間の最初の日の朝早く、そこより出てこられたということが普遍的に認められているが、伝道者の四人のすべては、イエスが

その弟子たちに現われたもうたのは最初の日の朝まだきであり、且つ弟子たちがユダヤ人を恐れて戸を閉め切つて集つていた時に、主が再び現われ、手、脇腹、足にある傷跡に彼らの手を触らせたもうたのは、同じ日の夕方であつたと書き誌している。この折に、救主は彼らに教えを与えられたのである。主が再び現われて、より多くの教えをたまひ、且つトマスの不信仰をおしかりになつたのは八日目、即ち一週の最初の日であつた。このことは、主御自身が安息日を変更され、この時から安息日が一週の前初の日となつたと云うことを示していると考えられるであらう。安息日の変更について新約聖書の中には多く誌されていないのは事実であるが、しかし、安息の時の主の日として変更されたという事実を示す言葉は多くある。

使徒行伝の中に次の如く誌されている。「一週の前初の日われらパンをさかんとて集りしがパウロ明日いで立たんとて彼等とかなり、夜中まで語り続けたり。」故に、彼らは安息日以外の日にパンをさかなかつた、云いかえれば聖餐の儀式を執行しなかつたということが認められるであらう。更にパウロがコリントの教会の会員たちに、「一週の前初の日ごとに、各人その得る所にしがいて己が家に貯え置け、これ我が到らんとし始めて寄附を集むる事な

からんためなり。」と勧告を与えたのは一週の前初の日であつたということも、注目に値するものである。同様に、主もヨハネに對して、主の日、即ち一週の前初の日に關して大いなる啓示を与えられ、次の如く仰せになつたのである。「曰く「なんぢの見る所のことを書に録してエベソ、スミルナ、ベルガモ、テアテラ、サルデス、ヒラデルヒヤ、ラオデキヤに在る七つの教会に贈れ」

また使徒ヨハネの弟子であつたイグナチウスが、「キリストを愛する者は、みな、全時代の王、及び主としてキリストの復活に捧げられた主の日を祝う」と云つたということも書き誌されている。

主の日についての解釈
アダム・クラーク博士は、ヨハネ黙示録一章十節に關して詳釈し、次のように云つている。

「主の日、一週の前初の日はキリスト教信者の安息日として遵守されているが、これは、この日に、イエスが死よりよみがえられたからである。従つて、この日は主の日と呼ばれ、キリスト教世界を通じて、ユダヤ人の安息日に取って代つたのである。」

同じ節に關して評釈したトマス・スコット博士も次の様に云つている。

「主の日とは、他でもない、主イエスが死より復活された日、一週の前初の日を意味するものであつた。最初の日が、この大いなる出来事を記念するため、初代教会のクリスチャンたちにより聖別され、神聖に保存されたということは、確定的な証明である。他のどんな事柄に關してこのように述べられ得るものがあつたであらうか。何一つないのである。」

同じ聖句に關して註釈したジェームズ・フオーセット及びブラウソンの三人は次の如く誌している。

「……主の日に就いて……主の日の復活を讃える日に、聖堂に會して兄弟たちと交わることには強制的に引留められていたが、ヨハネは彼らと靈的な交わりを保持していた。これが主の日という言葉の使われた最初である。しかしこの日を礼拝、施し、及び主の聖餐の日に捧げるといふことは、使徒行伝、二十章七節、コリント前書十六章二節、ヨハネ伝二十章十九節―二十六節の中に示されている。この言葉は主の晩餐といふこととも一致している。(コリント前書十一章二十節) イグナチウスは「主の日」に關して言及しているように思われる。」

ジャーステン・マーターの「謝罪」にも次の如く書かれている。「日曜日に我々は連合集會を開く。何故

なら、最初の日は、神が暗黒と混とんを除去されて、世界を造り、我々の救主、キリストが死より蘇えられた日であるからである。土曜日の前日、彼らはキリストを十字架にかけ、土曜日の次の日、即ち日曜日に、キリストは使徒や弟子たちに現われてこれらの事柄を教えられたのである。ペリニーは主の日に「キリストと教徒は夜明け前に集って、神なるキリストに対し讃美を歌う」と云っている。

それから私は両手を彼の頭上に按いて彼にアロン神権を授け、次に彼が両手を私の頭上に按いて私に同じくアロン神権を授けた。それは、かように天の使者に命ぜられたからである。この時私たちが訪れて、この神権を私たちに授けたもうた使者はヨハネと名乗り、かの新約聖書の中でバプテスマのヨハネと呼ばれるヨハネと同一人であると言ひ、自らはメルケゼデク神権の鍵を握るベテロ、ヤコブおよびヨハネの指示によって働らく者である。

私たちがこの使者の手によって神権を授けられバプテスマを受けたのは、千八百二十九年五月十五日であった。

内 案 書 目

教義と聖約	高価なる真珠	モルモン	経合本	110円
教義と聖約	高価なる真珠			300円
モルモン	経 (新訳)			300円
新旧約聖書	(口語体)	文語体		300円
回復された神の教会	(神権会)	用)		150円
	日	曜	学 校	
福音の実践				150円
古代アメリカの生活				100円
万人のよきおとずれ				100円
古代の使徒				100円
聖典中の指導者				150円
靈的成長 (2)				150円
新求道者のための福音の根本原則				25円
初等協会用教課書				150円
	M	I	A	
完成への道				200円
信証講義				200円
演劇脚本集				50円
役員と指導者の手引				100円
ゲームとその遊び方				50円
			讃 美 歌	
末日聖徒讃美歌				300円
末日聖徒讃美歌抜萃				30円
子等は歌う				100円

御註文は各支部長へ
(価格は一部変更しましたから注意して下さい)

信 仰 と 証

詞

ある福音を實踐してゆかねばなりません。

因さえ思い当らない今の生活に心から喜びて感謝する。

証 詞

福岡 青木邦子

兄弟姉妹の皆様神のこの大いなる御業に対し絶えざる感謝を捧げましょう。私はこの紙上をおかりして皆様に私の証詞を述べさせていただけます事を心から感謝致しております。

私達末日聖徒は、イエス・キリストの真実の福音を持つ事に対し絶対に感謝しなければなりません。この他に感謝すべきものは一つとしてありません。私はこの福音に對して絶対に確信をいだいております。福音の真実を証詞する事により、自身の信仰を強くすると共に、私達は未だ福音を知らない多くのの人々に対して教える事が出来ます。旧約時代の予言者は神と共に語り合う事が出来ました、またジョセフ・スミスも神を見る事が出来ました。私はそれ等を否定する事が出来ません。

来ます。ある人がもしジョセフ・スミス程に強い信仰を燃やし続け、善に對して凡てを捧げるだけの勇氣と力を持続する事が出来るとしたらもしや神は目の前に表われるかも知れません。がしかし私は目で見、手に触れなくとも神の實在を信じて居ります。福音は真理である事も知って居ります。福音の真実を証詞し、証詞に従って生きる時に何時も良い結果が生じる事を知っております。現在のこの混乱した情勢のもとに、如何なる變動が生じようとも、私達末日聖徒は少しの恐れも感じないでしょう。心の平安、それは凡てを神に捧げる時です、また福音に對して証詞をいただく時に生じます。私はイエス・キリストが神の御子であり、ジョセフ・スミスは神の真実の予言者である事を証詞すると共に、いかなる秀れた人であっても神に勝る人のない事を証詞致します。神の大いなる御業に従っている私達は絶えず信仰と証詞の中に生き、此の世の如何なるものよりも価値

感謝の証詞

新潟 阿部 たい

或る教会で祈りを捧げる人達を見て、心から神を信じて祈れる人は幸であるうと思つて居た。けれども自分が祈りの生活に入れるとは考へる事が出来なかつた。それが昨年十月十二日、始めて宣教師の訪問を受けて心引かれるままに教会の門をたたき、そして十二日目にバプテスマの誓約をしようとは夢の様な心の変化。主の恵みと導きによりて良き長老の教えを頂き自分の能力以上の物を私の心の中から引出して下さった事に限りない喜びと感謝を捧げる。

末日聖徒・・・私はこの言葉を心から愛しよく使う。妻であり子供の母である自分が古い家風、家族の反対などを考へる時心は痛むけれども今の私には主の救のある事を信じられる喜びがあらゆる苦痛をやわらげてくれるのだ。事実夜の眠の深くなつた事はかつて眠れなかつたのが不思議に思える程、日夜心の安らぎを得て悩む原

因さへ思い当らない今の生活に心から喜びて感謝する。使命を持って降り給ひしイエスキリストが真に神の御子にして人を教へ導き其の罪より救う為に尊い贖をなし給ひし事実に感謝し証する。聖書が真理への灯となりて行き迷える人を導き給ひ其の御声は心ありて聞く人にのみ語られる事を証する。主の再び地に降り給う日を待ち願ひながら神の誠命を守り福音に生きる者になりたい、これは私の永遠の理想でありたい。この福音をもたらした予言者ジョセフ・スミスに心から感謝の思いを送りたい。

三年半の尊い伝道を終えて近く帰国なされるウエルチ長老、シヤムウエイ長老、求道者生活中のお二人から言葉につくせぬ善きものを頂いて信仰の根を地におろす事の出来た私、先日再びお会いする機会を頂き心の証をより強くなり得た事に深く感謝し今お返しする何物もないままにこの証を持って心からの御礼としたい。すべてをイエス・キリストの御名によりて捧ぐる。

アーメン。

証詞

新潟 熊倉裕一

新潟支部の各集會に出席することとは距離的、時間的、経済的に困難だとの理由で私はそれを乗り越えることができませんでした。それは私の心が「心を尽し精神を尽し思いを尽して主なる汝の神を愛すべし」の真意から遠ざかってい

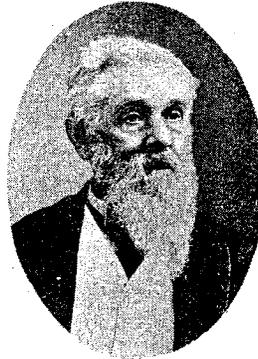
たからです。
熱心で真摯な會員ならば極めて当然な常識であることを私はハツキリと反省させられました。それは「安息日を守らねばならない」ということです。距離的、時間的、経済的な理由が障害となっていた新潟支部へ三月九日の安息日、前田トヨミ姉妹と共に出席する機会をつくりました。其処には思いがけなくウエルチ長老、シヤムウエイ長老が神権會を管理して居られるのを発見し、また日曜学校では日頃敬愛する中野兄弟の教えを受けたのです。

私はこの記憶すべき安息日の出来事を、私の取るに足らぬ祈りに対して応えられた神の語りかけであると信ぜずには居れません。私は罰せらるべき人間なのに神はこの私にさえ広大な恩寵を垂れ給わ

れたことを確信されるのです。今度私の身の上で起った現実にも則してその証しを一層強められたので

表紙の説明

才五代目大管長 ロレンゾ スノー



ロレンゾ・スノー大管長は「一八四四年、四月三日にオハイオ州、ボーティン郡、マントウアに生れた。一八三六年六月に彼は、ジョン・F・ポイントンによってバプテスマを受け、その冬に長老に聖任された。彼は直ちに伝道に従事し、聖徒たちがミズーリ州から追放された時、ケンタッキーで働いていた。

四十年代の始めの頃、彼は英国で伝道した。その伝道地は、マンチエスター、リヴァプール、バー

ミンガム及びロンドンであった。その伝道部から殆どの使徒が去ってから、彼は英国伝道部長であったパーレー・P・ブラツト長老の助手として働らいた。一八四三年に彼は、アメリカに戻って、ノーヴィーに彼の家を建てた。一八四九年に彼は使徒に召され、イタリ

に伝道し、其の地に始めて福音をもたらしたのであったが、あまり成功しなかった。スノー大管長は、一八八九年に大管長會が再組織された時、十二使徒會長に支持された。また一八九三年にソルトレーク神殿が仕事を始める為開かれた時、これを管理するように召され、この地位は彼の死ぬ時迄続いた。

ウイルフオード・ウツドラフ大管長の死後十一日に十二使徒連は會合して、大管長會を再組織した。その時八十五才であったロレンゾ・スノーは教會の大管長に支

持され、彼はウツドラフ大管長に任された同じ副管長達を副管長に選んだ。この即刻の大管長會再組織の理由は、ウツドラフ大管長がその死の直前になした声明「將來に於て大管長の死と大管長會の再組織の間の期間が長びくのは主の御意志ではない」に基いているのである。一八九八年の十月大會で新しい大管長會員及び教會幹部全員の名が例の通り提出され、全會一致で支持された。ポツクス。エルダー・ステーク部長のラジャークラウソン長老が十二使徒に召され十月十日に聖任された。

引き続きいて迫害によりもたらされた教會の財政的困難を打開するために、何等かの方策がとられねばならなかった。百万弗の公債を發行するように決定された。公債は一般國民及び地方的に關心を持った人達により応募され、この援助により教會は多額の負債に対処し財政的危機を切抜けることが出来た。

部の移民地を訪問している時に始められた。セント。ジョージの旅から戻ってからの一法は特別な課題となった。この主題は、その五月の末に開かれた相互発達協会の大会にも引続き取上げられ、それは各ステーク部の標語又はスローガンとなったのであった。この大会で全会一致で次の如き決議がなされた。

「我々はスノー大管長によって提供された自分の一の教義を、現在の言葉としてまた我々に対する主の御意志として、我々の全心を以て受け入れ、我々自身を守ると共に他の末日聖徒をも同様にさせるように全力を尽す事を決議せり」。

フランシス・M・ライマン長老が決議に就て少し話をした後、スノー大管長は、次のように述べた。「兄弟たちよ、我等の父なるアブラハム、イサク、及びヤコブの神は貴方たちを祝福する。ここに居るすべての人、この約束をしたすべての人は日の栄に救われるであろう。神よ彼等を祝福し給え。アーメン」

スノー大管長の管理の末期に生じた大きな興味あることは日本伝

道部の開設である。全世界に福音を宣べ伝えよとの誠命を守りつつスノー大管長は極東の人々に宣教師を送るよう導かれた。十二使徒会のヒーバー・J・グラント長老が、その伝道部を開設すべく一九〇一年二月十四日に選ばれた。後にホラス・S・エンサイン長老ルイス・A・ケルチ長老及びアルマ・O・テイラー長老たちが、その伝道を助けるように召された。

この兄弟たちは一九〇一年七月二十四日に日本に向って出発し、八月十二日に横浜に到着した。伝道の仕事は幾世紀にも亘る異教の教えと長老たちの語学習得の困難から遅々として進まなかった。他の兄弟たちが帰った後テイラー長老が九ヶ年間伝道部長として留った。

一九〇一年十月大会の時スノー大管長は、病気で大会に出席出来なかった。最終日である三日目の日曜日(十月六日)の午後に彼は出席して、幾らか弱々しかったが長時間の話をした。彼の挨拶が終つて教会幹部が支持された。ジョセフ・P・スマイスが大管長の才一副管長にまた一九〇一年四月十二日ジョージ・Q・キャノン副管長がカリフォルニヤで逝去したので、

ラジャー・クラフソンが才二副管長に提議された。然しながら此の兄弟たちは、これ等の職に聖任されなかった。何となれば、スノー大管長は大会から戻つて、ビーハイヴ(蜂の巣)の家の彼の部屋にこもり、四日後(十月十日)に逝



ローズ ヒガ姉妹

「四月馬鹿の日」の大体十時半頃東京の羽田空港から電話がかかって来た。それに依るとハワイのホルルから二人の女の宣教師が到着したとの事。すわ一大事とばかり(でもないかな?)ノーマン・D・シヤムウェイ長老とウイリアム・O・ウイタカー長老の二人が召集(?)されて、空港へ姉妹の

去したのであった。葬式は四日後にタバナクルで行われ、その後、遣がいは、特別列車でスノー大管長の故郷ブリガム市に運ばれた。そして其処で教会幹部及び大いなる民の群の列席の下に埋葬された。

出迎えに派遣された、両長老は確かに(四月馬鹿の日であったにも拘らず)空港に、ホルル出身のウイリアム・アバナ姉妹、及びローズヒガ姉妹の二人がまだ首に「レイ」をぶらさげながら荷物取扱所の隅みぎに腰かけているのを発見した。二人はPAAの飛行機で来日したのである。



ウイリアム アバナ姉妹



系図のページ

伝道部系図組織

伝道部組織は如何なる場合でも次の通り構成される

- 一、伝道部系図委員長
- 二、書 記
- 三、必要に応じて加えられる他の補助者

若し伝道部が神殿に近接している場合は、その系図組織はステーク部の組織と同様になるべきである。

北アメリカ大陸（米合衆国及びカナダ）外の伝道部に於ては、ソルトレーク市に送る、家族の記録の探査及び記入が誤っていないかどうかチェック出来るに充分なだけ大きく組織されねばならない。

そのような検閲を行う場合、その記録を系図協会に転送する迄に、一週間以上留めておく事のないように間に合せる程度に組織されねばならない。

*** 任 命 ***

伝道部系図委員長は、伝道部長会によって任命される。若し伝道部系図委員会管轄下の仕事をなすに当り、追加の補助者を必要とする時は委員会会長は、伝道部組織内の彼の補助者の名を提案する特権を持つ。この特権はただその補助者を名指すにとどまる。彼等に個人的に話す前に委員会会長は、彼等の名を伝道部長会に提出し、伝道部長会は委員会会長の推薦を認可しまたは認可せざる事を得る。

推薦が承認された場合は伝道部長会は、召命を發して選ばれた人たちはそれぞれの職に聖任される。伝道部長会が系図委員会の職の候補者たちを探し求める必要はない。伝道部系図委員長は、伝道部内の会員が資格あり、その職が可能な時は、伝道地の会員を用いるよう推薦する。若し伝道部の適当な会員が見出されまたはその仕事の為に訓練出来るなら、宣教師をその職に使う事は恒久性を欠くのですすめられない。

*** 管 轄 ***

伝道部系図委員会の委員たちは日曜学校の系図教育のクラスを除いて伝道部内のすべての系図及び神殿の仕事に就て、伝道部長会に對して責任を負う。

神殿に近接した伝道部で、神殿の儀式的仕事の為に予約出来る時は、すべての神殿への派遣組は伝道部系図委員会を通じて決められるよう要請した方がよい。

*** 伝道部系図委員会会長の義務

伝道部委員会会長の義務はステーク部組織の会長に對比せられる。神殿出席に關連しての責任は、神殿に近接して派遣が可能な伝道部にのみ存在する。米合衆国及びカナダ以外の伝道部に於ては、神殿の仕事の為に提出される家族の記録の予備的検閲が附帶的責任である。このような検閲が米合衆国及びカナダの或伝道部内で行われる時は事前に系図協会の職員と打合せをなさねばならぬ。

*** 其他の補助者 ***

伝道部系図委員会に他の補助者が追加される。これ等の人は組織の必要に応じて、伝道部委員会会長の指名により提供される。

*** 地方部 ***

伝道部内の如何なる地方部もステーク部に準じて組織される。地方部系図委員会はステーク部系図委員会と同様の型に形成される。これは勿論、伝道部の管轄下に活動する。

*** 独立支部 ***

独立支部は出来るだけ、ワイルド部の組織に準じて組織される。その場合次のようになる

- 一、支部系図委員会会長、一人
- 二、二人の補助者、（オ一、オ二副委員長）
- 三、書 記
- 四、満足出来るホーム。テイー

チング計画に必要なだけの追加会員

若し支部内に系図委員になるに
適当なメルケゼデク神権者が充分
に居ない時は、アロン神権の先任
者たちがこの目的に用いられても
よい。

支部系図委員長は神権者たる
事を要し出来るだけメルケゼデク
神権者が望ましい。二人の補助者
も神権を持つべきである。けれど
も小さな支部に於ては、支部長会
が適当と認めるときは女性がこの
職に召されてもよい。

*** 従属支部 ***

従属支部に於ては、その組織は
その実状に依り、出来るだけ独立
支部に準じて組織される。

支部系図委員長及び二人の補
助者は、支部を管理する権能者に
より、ワード部の任命と同様の方
式を以て任命される。支部系図委
員会は、ワード部委員会が、ワ
ード部内で有していると同様の機
能を支部内に於て持つ。

支部系図委員長及び二人の補
助者は、ワード部委員会に任命さ
れた者と同様の職責を有する。た
だ神殿より遠隔の支部に於ては、
彼等は神殿の仕事の為の予約（指
名）に就ては責任を持たない。そ
のような場合、補助者たちは、強

力なホーム・テイピング計画を
推進し、支部会員の為、系図の集
会を催し、またすすめた方がよい。
家庭に家族の組織を設け、その他
系図並に神殿の仕事を増すような
如何なる任務をも与えられるべき
である。

貴方々の協力を期待する

親愛なるステーク部長並にス
テーク部系図委員長

私たちはこの差迫った時に、皆
さんの援助を求め、皆さんがその
管理下にある資料の根源のすべて
を動員して、現況打開に協力され
ん事を望みます。

過去数年間、神殿の仕事が強調
されて来ましたが、ステーク部指道
者たちの不断の努力により、全教
会を通じて、神殿の仕事は著しく
増加しました。一九五七年に、エ
ングウメントの数は、前年度より
二十万増加しました。この為、今
や私たちに於て、よりよい記録
をつくる為、更に着実な調査探求
の必要な事を強調する事が必須と
なつて来ました。

系図の調査探求は、神殿の仕事
と同様に重要であり、重視されね

ばならないと言うことが強調さる
べきであります。

ただいま儀式が執行されて居る
十の神殿は、神殿の仕事の為に、
教会の会員によって送られて来る
姓名よりも多くの、エンダウメン
トを行つて居ります。一九五八年
の一月中には、神殿に送るべく手
続きを終えた姓名の数よりも、三
万二千も多くのエンダウメントが
行われました。一九五七年度に約百万
のエンダウメントが行われました。
これは実際に於て、この期間中に
神殿の仕事（儀式）の為に手続を
終えたものより十三万五千以上も
上廻つて居ります。貴方は直ぐ、
現在教会の会員によつて行わるべ
き、より多くの正しい種類の調査
探求が緊急に必要なことに気がつ
くであります。

書物やマイクロフィルムの中
の記録は、未曾有に豊富となり、
主は必ずや私たちが賢明に此の記
録を使つて、神殿の仕事がその歩
調を落す事のないように保つこと
を、善しとせらるるでありますよ
う。予言者、ジョセフ・スミスの
言葉に、「兄弟たちよ、大いなる
義の道に進もうではないか！ 後
退じゃなくて前進するのだ」。神
殿の仕事が遅らせる事は確に後退
であります。

或神殿は目下、手許に限られた
姓名しか持つて居りません。儀式
の為に可能な姓名の数が増加しな
い限り、彼等はエンダウメント執
行の集会の数を縮少せざるを得な
くなり、姓名の不足の為に、人々
を神殿から遠ざからすようになり
ます。この事はまた執行され得る
結び固めの数を直接に縮少させる
結果となります。

私達は貴方たちがその管理下に
ある人々にたまたま多くの姓名
を提出するばかりでなく、あらゆる
点に於て、その記録が受理され
得るものであるように強調するよ
うに、お願い致します。何故なれ
ば、既に前に受理し、儀式を賦与
された家族の記録が重複して送ら
れて来たり、また不完全で身分証
明の不充分な、家族の記録が送ら
れて来て、完全なものとする為送
り返さねばならず、これ等は儀式
の為に姓名を増やすこととはなら
ないからであります。私たちは、
適正な調査探求の結果提出される
より多くの記録、また前に提出さ
れた多くのものより良い記録を必
要として居ります。

貴方の系図委員会の活動及びその効果を増大させる為、貴方の援助が必要で、これを完成させる為、各ワイド部、系図委員会は通常十六人またはそれ以上の有能な進取的委員を揃えるべきであり、各ワイド部に於けるすべての家族が、少くとも二ヶ月に一回系図の調査探求に直接の援助が与えられるよう、家庭ワーク・ナイト計画を各ワイド部に於て実施せられたい。私たちは一九五六年度の編纂の「系図及び神殿の仕事の為のハンドブック」の十三頁から二十三頁迄（ステーク部組織及びワイド部組織）及び四十三頁から五十三頁迄（ホーム・テイ・チング）に教えるべき事を強調します。

現在ソルト・レーク市、バウンティフル、オグデン及びプロボに於て系図の調査探求の為特別の夜のクラスが設けられてあります。若しも貴方の管理下の必要な人がこの教育を受けたら、その人々が更に貴方のステーク部内の他の会員に教える事が出来るでありません。ソルト・レーク地区以外のステーク部はブリガム・ヤング大学の家庭学部を通じて系図調査探求の通信教育を受けることが出来ます。

何卒広く公示することにより、貴方のステーク部及びワイド部の系図委員会の賢明なる有機的活動によりまたホーム・テイ・チングの指導的援助により、日曜学校の系図教育クラス及び前述の夜のクラスを完全に利用することにより、神殿の仕事の為のよりよく、より多い記録を確保すべく絶えず追求する事により貴方たちの援助を賜るよう期待して居ります。本年は恐らく十二の神殿が活動する事でしょう。私たちは、当然百万以上の姓名を準備すべきであります。このような栄ある達成を得るにはこの仕事の重要さに対する真の認識ステーク部及びワイド部の役員、系図委員、日曜学校相互の完全な協力と細心の計画が必要であります。

系図協会長

ジョセフ・ファイルディング・スミス

総書記

アーチバルド・P・ベネット

伝道本部に系図図書室設置

今度アンドラス伝道部長の許可を得て左記図書を購入、系図図書

室を設置しましたから会員皆様の系図の調査探求に当り、遍く御利用下さるよう、何等かのヒントまたは参考資料を供し得るのではな

いかと期待して居ります。一、姓氏家系大辞典
立命館大学教授、太田亮著
全三巻六六七三頁、(日本の姓名は全部網羅)
一、姓氏と家系

一、系図総覧
編輯兼発行者、広谷雄太郎
(諸家系図及び東京大学史料編纂掛蒐集の系図等により編纂せるもので帝系図、皇室系譜、將軍系図、清和源氏系図、平氏系図、其他一七六の家系図がおさめられて居る)

一、日本系譜総覧
日置昌一著、皇室御系譜、皇族御系譜、朝鮮歴代御系譜、諸家系譜、(物部氏、大伴氏、蘇我氏、藤原氏、其他四五八氏)此の外仏教系図、神道系図、書道系図、繪畫系図、華道系図等其他約二十のその道による系図

及び国史重要事項一覽等を含む。

姓氏家系大辞典は中央支部阿部千枝子姉妹が断食して神田中の本屋を隅なく探し聖霊の導きによりやっと探し出した貴重な文献であり、系図図書室開設に誠にふさわしき記念すべき書である事を皆様と共に心から感謝したいと思ひます。

私達はこの貴重な資料を有効に使い、前掲ジョセフ・ファイルディング・スミス系図協会長の御期待に副うべく、又主の御意志にかなうべく一日も早く系図を探求調査し完全な家族の記録を作成して系図の表と共に神殿に提出しようではありませんか!

伝道部系図委員会

渡部正雄

原稿募集

- 一、支部活動状況 (四百字詰三枚位)
- 二、証詞 (同 二枚位)
- 三、詩、和歌、俳句等 題隨意
- 四、集会等の写真
- 五、切 毎月月末 (切敬守)
- 六、宛名 港区麻布広尾町十四
- 七、末日聖徒イエス・キリスト教会

編集部

モルモン経物語

エマ・マー・ピーターソン著*渡部正雄訳

才二十一 十二章

ベンジャミンの忠告
(モーサヤ書 才一章(才六章))

ベンジャミン王には「モーサヤ」「ヒラム」「ヒラマン」の三人の息子がいました。彼は彼等に主なる神さまの予言を教え彼が所有している昔の記録の読み方を教えました。

彼は記録は保存されねばならず民の歴史は毎年その上に書き加えられねばならぬと説明致しました。

彼は彼等に若しリーハイが荒野に黄銅版をたずさえて行かなかつたら彼の民は無信仰となり真の神を知らなくなっていたであろうと告げました。彼はリーハイは版に書かれている事すべてを記憶することが出来ず、またその民もリーハイの教えた事をすべておぼえている事は出来ないであろうと言いました。

ベンジャミンはまた彼の息子達に世の教主として来るであろうイエスを信ぜよと教えました。

或日彼はモーサヤを呼んで彼がもう年をとったのでその地位をモーサヤにゆずりたいと申しました。彼はモーサヤに全国の人々に彼が話す事が出来るようにすべての人

を神殿に集めるように頼みました。モーサヤは父の望み通りにしました。人々はゼラヘムラの地の隅々より集って来ました。彼等は天幕とまた犠牲として捧げる或家畜を持って来ました。彼等は義王ベンジャミンの治世に主なる神さまによって繁栄させられその人口も増大して居りました。モーサヤが数える事が出来ない程人々は大勢神殿の周りに集って来ました。

神殿の中に全部入りきれない程人々が集って来ました。これを見たベンジャミンは彼がその民に語る事が出来るよう高い塔を建てました。彼はそれでも、すべての人が彼の云うことを聞けないであろうことを知って、その僕に彼の言わんとするところを書きとらせ、彼の声を聞けない人々の間にまわすようにさせました。

彼等は天幕を張る時、その中に居ても王のメツセージが聞けるようにその戸口を神殿の方に向けました。

遂にすべての準備が出来ました。もう老人となった王は塔の頂上に登って民に語り始めました。彼は彼等に彼がよい王となるように努めたと言りました。彼は彼等に重

税を課せず自ら働いて自分の生活を支えました。彼は民に彼等のほんとの王は彼等をつくり彼等が正しく生活する時に彼等を祝福して下さる、主なる神さまであることを告げました。彼は民が若し続けてよい民であるなら主なる神さまは必ず彼等を守り繁栄させるであろうと約束致しました。

そこで彼は自分は今もう老人になつて王の働らきをするのも困難になつたから彼等の新しい王としてモーサヤを選んだ事を宣言致しました。

彼はまた彼が天使に訪問されその天使は彼に多くの事を語つたのでそれを今彼等に伝えたいと云いました。

彼は間もなく教主として世に生れるであろうイエスに就て教えすべての人に彼を信ずる様に頼みました。彼は民がそれを聞いて畏れに充たされてしまう程の力を以て語りました。何故なら彼等は多くの罪を犯していた事を知って、いまだから。或者たちはそのなした悪い行の爲に地にたおれてしまう程驚き怖れました。すべての者が許しを乞うて主なる神さまを呼び始

めました。

そこでベンジャミンは再び語りました。彼は彼等にもし彼等が主なる神さまを喜ばせようとするならお互に愛し合い貧しい人や病人に親切にし物を必要としている人に与えるようにしなさいと告げました。

ベンジャミンは民の内どれだけの人が彼の語ることを信ずるかとはずねました。彼等は皆声を揃えて叫び「はい我々は皆貴方が我々に語った事を信じます」と云いました。

彼等は彼等がすすんで主なる神さまの思召し通りにし主なる神さまの誠命を守ることを誓約しその通り実行致しました。

その事は年老いた王を喜ばせました。彼は彼等にキリストの御名をひきうけて常に主に仕えるように頼みました。

ベンジャミンは語り終えると彼の息子が彼に代って王となるように聖めました。彼は若いモーサヤに王国の全責任を与え、またすべの版、レーバンのつるぎ及び旧世界からの旅の道中、リーハイを導いたところの羅針盤を与えました。

ベンジャミンは此の大なる出来事の後三年間生き長らえました。

ベンジャミン王が彼等に語った事すべてを國中の人に教えるよう祭司達が指名されました。彼等は方々を歩き廻ってすべての人に彼等がベンジャミンの大なる説教の時になした神に仕えると云う約束を思い起させました。

新王、モーサヤは民にその生活の為に働き、地を耕して穀物をつくり食物を備えるように命じました。彼は自ら農夫になって模範を示しました。

第二十三章

スバイ「ゼニア」

(オムナイ書第一章、モーサヤ九章及び十章)

ベンジャミンがゼラヘムラ市を治めている時に多くの人が彼等の故郷ニーフアイに帰り度いと希望しました。彼等はまだそこに彼等の家が建っているかどうか見たいと思ひもう一度そこに住めるかも知れないと感じました。これ等帰り度いと望んだ人々はその友達を集めて旅をする事に決定しました。或兵士達も彼等に加わりました。多くの貴重な財産や食糧や衣類をたさえた彼等はつるぎや盾を



以て自分達を武装しました。

すべての準備が出来た時、彼等は町を去り荒野に向って出発致しました。彼等はレーマン人の国境に近づく迄また彼等の昔の故郷ニーフアイの地に近づく迄、何日も旅を続けました。

今はレーマン人がその地を所有して居るので彼等は攻撃してレーマン人を追出すべきか、または平和的に入ってレーマン人達と仲好くすべきか迷いました。

彼等の内の一人のゼニフはよく教育された人でニーフアイ人の歴史を勉強して居りました。ゼニフは以前に此の地方を旅して居り、よく知って居りました。

彼がニーフアイの軍隊に兵士としてつとめていた時に彼はスパイとしてレーマン人の間に遣わされ彼等の内に多くの善人が居る事を発見しました。そして彼は彼等が好きになったのでした。彼はレーマン人とニーフアイ人は好い隣人になって、共に平和に生活せねばならぬと感じました。彼はその事を一行の団長及び他の者達に告げました。けれども団長はそれを怒って、ゼニフを殺そうと致しました。けれども彼の友人が彼を

救いに来て死より援けました。そしてここに一行のうちわもめが始まりました。

兄弟同志、父親同志が互に戦いました。殆んど一行の者が全部殺されてしまふまで戦いは続きしました。只五十人だけが生き残りました。悲しみの内に彼等はセラヘムラに戻り人々にこの大悲劇を告げました。

ゼニフは尚もレーマン人の国に戻ろうと望み、他の人々に彼の計画に参加するように頼み彼等は同意しました。

彼は彼等にその家族及食糧天幕をたづさえて彼と共に荒野に行くよう告げました。

彼等が長い間旅した後、彼等の食糧は尽きてしまいました。多くの者が病人となりました。遂に彼等は最初一行の者が仲間争いをした処に到着しました。

ゼニフは一行の者をそこに置いて只四人の者を伴ってレーマン人の町の近くに行きました。そこで彼はレーマンと云う王の許に連れて行くよう頼みしました。ゼニフはレーマン王にリーハイニーフアイの地に彼の民を連れて来て住家としてよいかとたずねました。

王はずるい人で若し彼等が入って来ることを許したら彼はゼニフとその民をわなにかけて自分らの奴隷とする事が出来るかも知れないと思ひました。そこで彼はゼニフに国の一部を分け与えると云いました。彼はその地方に住むすべてのレーマン人に立退くように命じました。

そこでゼニフとその一行の者がそこに入って来ました。彼等は家を修繕して穀類を植えました。ゼニフは彼の民に主なる神さまに仕えるように教えました。

彼等がそこに移って来てから三年たつとレーマン王は彼等を奴隷にする時機が来たと決心しました。彼は自分の兵士達にニーフアイ人と争いを起すように告げました。そこでレーマン人はゼニフの民がその畑に働いて居る時に攻撃し彼等の羊を追散らし彼等の財産の多くを盗みました。人々は急いでゼニフに援けを求めに行きました。

ゼニフは彼等を弓矢、やり、盾を以て武装させ軍隊を組織しました。そして彼等は共に主なる神さまに祈りレーマン人の手から救出して下さるよう頼みしました。主

なる神さまは彼等の祈りを聞入れ、彼等が戦場でレーマン人に逢った時これを打破る事が出来、一日に三千人以上もの敵を滅ぼしました。しかるに味方はわづか二百七十九人殺されただけでありました。けれどもこれ等犠牲者を彼等は深くいたみしました。

レーマン人達は長い間二度とニーフアイ人を攻撃して来ませんでした。けれどもゼニフは彼等は必ずまた来ると信じました。彼はその民を武装させたままにして彼等自身を守る事が出来るようにおきました。彼はその地を警戒する為に衛兵を置いて見守らせました。誰か来ず平和の内に何年か過ぎて行きました。

ゼニフの民がそこに住んで二年たつてからレーマン王は死にその息子が彼の代りに王位に着きました。息子は悪人でレーマン人を戦争にかり立てました。ゼニフはレーマン人の間にスパイを持って居りそのスパイはレーマン人の計画を見抜きました。ニーフアイ人は戦闘の準備をし、レーマン人が攻撃して来た時再びこれを打破りました。そして此の地に再び平和が訪れました。

才二一十四 章

レイマン人の偽りの教え

(モーサヤ書 才十章)

悪い人々は彼等の悪行の言い逃れをする為にうそをつきます。レイマン人もその通りでした。彼等はニーフアイ人が彼等の欲しい物を持って居るのでニーフアイ人を憎みました。彼等は貪欲でありました。ニーフアイ人のように勤勉でなく怠け者でありました。

彼等はニーフアイ人が勤勉で辛抱強い為立派な家やよい穀物を持つて居るのを憎んだだけでなくニーフアイ人が白い肌であるのを憎みました。彼等は自分達の暗い皮膚がその悪行の為に主なる神さまから呪われたのである事を知って居りました。ニーフアイ人がそのように美しいのに彼等が暗い皮膚であるのを思うことは彼等の自尊心をきずつけました。

レイマン人達はその子供達にニーフアイ人に就いていろいろな、うそを教え信じさせようとし、したので彼等の憎しみは一層ひどくなりました。彼等はレイマンとレミユエルは、その父リーハイ及び兄弟ニーフアイによって悪くされた上、住み心地の、ったエルサレ

ムのよい住家からつれ出され荒野に住まわせられ たのだと

レイマンとレミユエルはアメリカへの旅の道中に於てまた海を渡る船の中でリーハイ及びニーフアイにひどいめにあわされたのだと言いました。彼等はまた子供達に彼等の先祖達がアメリカに着いた時不公平に取扱われたと言いました。彼等は主なる神さまはニーフアイの祈りを聞いて彼を祝福したけれどもレイマンとレミユエルをば祝福しなかつたと言いました。主なる神さまがレイマンとレミユエルを祝福しなかつたのは彼等がしばしば主なる神さまを信ずることを拒み遂に叛いてその誠命を守らなかつたからであります。けれどもレイマン人達はその事に就いては子供達に何も言いませんでした。彼等はまたうそをついてニーフアイ人を憎ませたのであります。

彼等はまたレイマンとレミユエルが兄さんであるにも拘わらずニーフアイが一家の指導権をにぎつた事を聞かされて大変ふんがいしました。彼等はその子供や孫たちにニーフアイが不正に指導者となつたのだと信じさせようとしまし

た。彼等はニーフアイが進んで正しい事をしようとしたのにレイマンとレミユエルは彼に従うことを拒んだので主なる神さまがニーフアイを選ばれたのであることに就いては何も言わなかつたのでした。レイマン人達はニーフアイとその民が新しい住家を見つける為にレイマンとレミユエル及びその家族達を後に残して荒野に逃去つたのだと言いました。ニーフアイとその民が去つた真の原因はレイマンとレミユエルがニーフアイを殺そうと企んだからであります。レイマン人達がその子供達に語つたのはニーフアイとその家族はレイマン人から何か貴重な物を盗んで逃げ去つたのだと云うことでした。これもうそであります。そしてまた彼等はニーフアイ達が盗んだ品物の内で最も貴重な物は黄銅版であつたと言いました。

このような事を彼等の子供達に教えるのは偽りであり、何故ならばレイマンとレミユエルは版の上に書かれてある主なる神さまの教えを憎んで守ろうとしなかつたのでありますから、後にレイマン人は版を打ちこわそうとしたのであります。しかも彼等はその版をニーフアイ人が彼等より奪つた

と云つてニーフアイ人を憎ませようとしたのであります。彼等は同様にまたニーフアイ人の物を盗む事、ニーフアイ人を殺すこと、またその家や財産を打ちわす事を教えました。レイマン人達は彼等の指導者からそのような偽りを教えられて益々やばんにざんこくになつて行きました。この憎しみの故にレイマン人達はゼニフとその民に対して戦いを望むようになったのです。ゼニフのスパイ達はレイマン人の計画のニユースを持って来ましたのでゼニフは直ちに戦争の準備をしました。

彼は女や子供達を荒野にやつてそこにかくしました。そこで彼はすべての男を弓矢及びやり、盾によつて武装させました。老人さえも軍隊に加えました。ゼニフのスパイ達はレイマン人を撃つてシエムロンと呼ばれる地を攻撃しようとして居ることを知り、レイマン人達が近づいた時ニーフアイ人はレイマン人が、ニーフアイ人が、そのつくり方を知つて居る武器で武装されているのを見ま

す。彼等はまたレイマンとレミユエルが兄さんであるにも拘わらずニーフアイが一家の指導権をにぎつた事を聞かされて大変ふんがいしました。彼等はその子供や孫たちにニーフアイが不正に指導者となつたのだと信じさせようとしまし

した。彼等は弓矢、つるぎ、短けんを持って居りました。また或者は投石機また多くの者はニーファイ人に投げける為の投石を持って居りました。レーマン人達はその頭をそって一層ざんにんの様になつていました。彼等の大部分は毛皮の腰巻きをしているだけで殆んど裸体でした。ゼニフは既に老人となつていま

二ユース欄

良き一ときを送る

二月十六日、甲府支部ではシン地方部長、チエース長老、伊藤姉妹を東京からお迎えして有益なお話を伺いました。伊藤姉妹より神の御言葉からメツセージが取りつがれました。メツセージの主題は、「神の愛と、福音をのべ伝える」事でした。ルカ伝十二章十三節と二十一節を引照し、私達は神の福音を自分一人のものにしなくて、私達は世の光であるから、私達によい行によつて、多くの人々に広

したがその軍隊を引卒してレーマン人と戦いました。彼等は主なる神さまの援けを祈り主なる神さまは戦場に於て彼等を強くしました。彼等はレーマン人の軍隊を打破り大変よく戦いましたのでレーマン人の軍隊は多くの戦死者や負傷者を後に残して逃げ去ってしまいました。

めなければなりません。と、またチエース長老は、人間の罪の深さ、それに注がれる神の愛の偉大さを語られました。シン地方部長は御自分の体験から「いかにして末日聖徒イエス・キリスト教会の宣教師になつたか」について非常に熱心に話して下さいました。そして、「御言葉にあります、神は敬虔なものに恵を与え、たかぶる者をしりぞけて主は心のへりくだる者を求めて居られる。へりくだるならば恵をいただく事が出来ます」と語られました。神の愛の御手のうちに守られ素晴らしい時

三月の諸会合

間として週す事が出来ました。二月二十二日、午後七時から資金獲得の為神権会主催で食べよう会が行なわれました。出席三十五名、姉妹達の腕によりを掛けたカレライスを皆舌打ちしていた頂きました。その後、即興劇による「ロミオとジュリエット」、「貫一、お宮」とを、長老、兄弟姉妹とによつて演じ皆を爆笑させ、楽しい一時を過す事が出来ました。(早川蘭子)

三宮扶助協会成立

二月九日、三宮支部の扶助協会が成立し、ライト姉妹、クロツク姉妹が岡町から出席し指導して下さいました。決定した役員、

会 長 大西三重子
 才一副会長 木下隆子
 才二副会长 寺尾慶子
 社会科学 川原林和子
 文 学 亀井洋子
 書 記 大江豊子

姉妹達は求道者と共に力を合せて立派にやう行くよう張り切っています。また神権会はバツク地方部長を迎え、新しくアロン神権(執事)をうけたにな川、前芝兄弟と一緒に三月二日才一回を開きました。創立、間もない支部ですが、兄弟姉妹も多く誕生し力強く思っています。

他の支部とも力を合せて会員、求道者と共に立派な支部にして行きます。(亀井洋子)

素晴らしい結実

昨年は新発田支部、三条支部が新潟支部に統合されて一年間、支部組織の確立、会員増加の年でした。今年こそ更に発展の年として神の王国建設の為、"越後人"の底力を出そうと、春と共に兄弟、姉妹一同努力して居ます。さて今年のすばらしいニュース、その中主な物のいくつかをお知らせします。

* 山本、萩、両姉妹芽出度く看護婦学校を卒業し白衣の天使として働かれる事になった。

* 酒井信姉妹は優秀な成績で国際キリスト教大学に入学許可された。

* 中島姉妹はラジオ新潟テレビアナウンサーに何倍かの競争で見事二人の中の一人に選ばれ東京で一年間専門の教育を受けて来られる事になった。

* 当支部会員中最年少者である佐藤統一兄弟は新潟県で一番競争率のある高校に見事合格した。

此のようなすばらしい会員を多く持つ新潟支部の将来は期待されているが、酒井姉妹、中島姉妹は東京へ学業の為しばしのお別れをしなければならぬし、小林正夫

兄弟、今井正子姉妹はそれぞれ仕事の関係で、立川、池袋へお送りしなければならぬ事は本当に残念ですが、きっと皆んな東京支部で頑張って下さると信じて居ります。

次に支部の資金について報告致したいと思いますが、今迄は"食べよう会"等を通じて集めて来ましたが本当に微々たる物でしたので二月から計画し二月末から約一ヶ月間映画の前売券を売って約四萬円の利益を得ました。此の方法は会員達の大きな努力とある程度の犠牲を除いては全然資金を必要としませんので今後も続けたいと思つて居ります。

(中野 久兵衛)

楽しいバス旅行

春分の日を休日を利用して岡町支部のMIAはバス旅行を主催した。岡町駅前から大型観光バスを借り切りで総員五十九名、須磨水旅館から須磨浦公園へと(途中から三宮支部の七名参加)恵まれた好天気で楽しい一日でありました。なおMIAでは前日の二十日夜オープンナイトを開催したが富山兄

弟の紀州各地旅行の土産話や怪しげな催眠術公開に楽しい春宵を過ぎました。出席者六十余名の盛況。* 宣教師異動。クルツク姉妹横浜(後任野田良江姉妹(札幌から))南都長老三宮へ後任ポーター長老* 役員変更。補助組織の役員が次のように新任された
(カツコ内は前任者)
MIA受付平島規佐子(ます田彰子) MIA書記ます田彰子(岩国滋) 系図委員会才一副会長坂本吉章(阪本晴子)

(阪本 幾代)

福音研究クラス

まだ聞かれていなかった西宮支部の福音研究クラスは、最初"教義と聖約"から開始することとなり、三月九日は教義と聖約の歴史的背景を学び、早速、読み落していた諸点を指摘され、つくづく不勉強さを知らされました。この会に対する会員達の期待はとも大きなものです。先生はクリスチャンセン長老で、毎日曜日、夜(オ)一日曜日(のぞく)開かれます。出席者六名。

*** 旅行談の夕べ ***

タカハシ、クリスチャンセン両長老の提供による天然色スライドで、カナダ、ハワイを始め、ソルトレーク神殿やタバナクルその他、開拓者達の残して行った足跡を紹介されて居ながらにして、教会の歴史と現在のめざましい発展の姿を学びました。(三月十八日)

*** ビクニツク参加 ***

岡町支部MIAの計画によつて行われた。須磨方面へのビクニツクには当支部からも数名が参加した。

*** 組織変更 ***

日曜学校組織の一部が新任されました。才一副会長、安芸宏、才二副会長、杉原一綱、会員級の先生、石塚妙子姉妹

(田口 広道)

東京中央支部の民間外交

今年二十二名の会員を新に加えて、一六〇名となった東京中央支部は名実共に、全国最大の支部となつて来た。諸集会のプログラム充実ぶりは、上京する地方のメンバーや、外国の旅行者達が異日同音にみとめる所である。

三月二十九日、ロスアンジェル

日本伝道部の回顧(一)

東京 奈良 富士哉

あなたからの御質問に対して、お答え出来ませんことを感謝します。誇張せずに卒直に申し述べますが、内容に關し不備と思われることが沢山あると存じますが、過去の記憶をたどり出来得る限り正確を期したつもりです。これは私にとってほんとうによい一つの歴史となりますことを感謝せざるを得ません。

二、どのようにして当教会を知りましたか

末日聖徒イエス・キリスト教会をハツキリ知りましたのは北海道札幌市に在住し、私の十三才のときで、一九一一年九月頃のことです。小学校在学中同級生の一人が「アメリカ人の宣教師によるキリスト教会があるから遊びに日曜学校に来ないか、とても面白いよ」とすすめられたので行って見る気になったのです。しかし私の家から歩いて四十分以上もかかるので遠いと思いました。当時の札幌市

は未だ市内電車の小僧さんと仲良しでしたので毎日もなく途中には、日のお寺に遊びに行つたものです。当時早くも日曜集會カトリック教会を開いている程進歩的なお寺でした。私はそのお寺の住職(ボス)者であり、神権を回復し給うたことに見込まれまして一九〇九年同県のかじか沢町に転居の際、父親に連れられて住職にお別れの挨拶に参りましたとき、その住職は父親に私を坊さん(職業僧侶のこと)にしては如何かとすすめられました。私が、私はいくらお寺が好きでも坊さんになる気にはなりませんのでした。

ありましたが同じキリスト教会であったのですが、末日聖徒イエス・キリスト教会より他に一度もほかの教会には全然行く気はなかつた事が誠に不思議なことです。ふりかえって見ますと、私が静岡県沼津市に在住(一九〇〇—一九〇六年間)のとき、クリスチャーンの家庭集會に姉とともによく行ったものです。クリスマスには、二、三人の子供と一緒に讚美歌などを歌わせられ沢山のプレゼントを貰った記憶があります。今もって不可思議とされていることは、姉が本教会の讚美歌で歌詩のみ印刷された小型のものを持っていたこととです。それは不幸にして一九四五年四月三日の空襲により自宅が焼かれたので持っていませんが、姉が何処で手に入れたものかハツキリしません。その後私達一家は一九〇六年八月山梨県甲府市に転住しましてキリスト教会に行く機会はありませんでしたが、そのかわり小学校の友達にお寺(仏教)

信者として、天父なる神は生きて居り、イエスは神の子として、キリストとして復活在天して居ると、ジョセフ・スミスは眞の予言者であり、神権を回復し給うたこと等を証詞出来ませんことは誠に尊ります。

(註)
当時私が日曜学校の一生徒でありましたとき、大変可愛がっていただきました宣教師はトマス・エル・チツブマンと云う方で、日本伝道部長はエルバート・デ・トマスさんでした。

二、求道期間はどの位でしたか

当教会の日曜学校に参りました時は未だ年にも行かず無我無中でしたが、イエス・キリストが世の救主、贖主であることを信するようになったのは、一九一二年の四月頃からようやく教会と云うものを理解し始めた時からです。そのときから、モルモン經典や、教会略史等によって教えられまして一九一三年私が札幌市から鉄道学校に入学のため東京に参りました。

てから、東京の元牛込区薬王寺町にありました本教会に、毎日曜日出席して、一九一五年七月在学中教会福音の諸原則を信じ会員になりますまで求道の期間は四年位でした。

三、伝道部が閉鎖されたとき の感想

一九二四年八月当教会が閉鎖するの己むなきに至りましたときは私は既に長老に聖任されておりました。一九一三年四月東京に参りまして学校を卒業するとまもなく、国有鉄道に就職し甲府に勤務することになりました。

幸いにも当教会が当地にありましたので、私にとっては誠に幸福であったと言わざるを得ません。日曜学校や他の集会に出席したことは勿論です。一九二〇年四月大入学の為め再び東京に参り在学中は勿論のこと、教会の各集会に出席し特に相互発達協会(M.I.A.)の司会をする等、私としては誠に感激の時代でした。特にアイビンズ、ステンプソン、アイビー各伝道部長には大変にお世話になりました。閉鎖当時はロバートソン伝

道部長で私が一九二四年四月六日同伝道部長により、日本伝道部開設以来最初の結婚式を教会で致しました。

当時の日米間の国際情勢は余りかんばしくなかったのでありますが、当教会が一九〇一年日本に布

教の為にグラント使徒(初代日本伝道部長——后に大管長になられた方)外三名の宣教師(長老)が参りましてから二四年間の宣教の歴史を閉ぢなければならぬのですから誠に残念であり、これは天父なる神が私達に与えられた大

きな試験であったと思えます。然しながら何時の日、何時の年かは再開されるのではないかと祈りながら、帰国される伝道部長始め宣教師等と横浜港でお別れ致しました次才です(つづく)

詩藻

(投稿歓迎)

短歌

* 偶 感 *

東京 高木 とみこらう

——「詩」——

バプテスマ

東京 中央

細谷 ふさ子

罪の許しを新たに求めて
早春の水底に身をば横たふ
躊躇、逡巡、悶え苦しんだ過去の私よ!
だが然し

庭にある児等のさわぐに行きて見れば
つつじ一もと咲きそめてけり
子を愛す盲目的に子を愛すわが性に
てふさわしからず
春帽子買わんとしたるいくとせか今年
も買えでまずしさにあり
木蘭やはつかにも笑むとつくにのみ空
仰ぎて白くただしく

横浜 渡部 正雄

それも前進の為の一つの礎石で
あつたのかもしれない
霧散した想念の中に
生れ代つたすがすがしい魂よ
おほ!!
今よりは私もみたみの一人ぞ

三月十五日記

聖子のバプテスマの日(三月二十九日)この冬季シーズン始めての
大雪をみて
聖き子のバプテスマめであまつちも白
きころもをよそおいにけり

安息日(三月八日)安子病床
より起上がりて教会に行く

安息の子は起ちにけり「しゆ」の日に
みそばちかくにはべらんものと

教会幹部人事異動

先だつての「チャーチ・ニューズ」に依りますと、ヒュー・B・ブラウン長老が新たに十二使徒会の会員として支持されたという事が発表されて居りました。又、ゴードン・B・ヒンクレイ、及びヘンリー・D・テイラー両長老は十二使徒会補助として、更にアルバート・T・タツトル長老は七十人最高評議員会の会員として支持されました。かように新たに空席が充たされたのは、アダム・S・ベニオン、トマス・E・マツケイ及びオスカール・A・カム三長老が逝去された事によるものであります。



ゴードン・B・ヒンクレイ



ヒュー・B・ブラウン



アルバート・T・タツトル



ヘンリー・D・テイラー



オスカール・A・カーカム



トマス・E・マツケイ



アダム・S・ベニオン

編集言

◎大管長、伝道部長のメツセージは私たちの信仰の指針であり、生活の希望であります。北部極東における伝道部が恵まれた発展の機会にあることは御同慶の至りです。◎東京、横浜地区へ立派な礼拝堂建築の計画が進められ、そして大阪、神戸地区へも同じ計画が持たれていることは、回復された真の教会が、日本を中心に極東が伝道の栄えの地に選ばれたことに外なりません。

◎私たち教会員がこれが実現のためには、祈ることを忘れず、掟を誠実に守るならば、必ず私たちの願いは聞き届けられるに違ひありません。

◎「聖徒の道」は月を追うて充実して参りました。各支部が一日も早く係員を選任して、此の雑誌の発展のため具体的方策を編集部まで提案されることを期待しております。

一 聖徒の道 第二巻五号
 一九五八年五月一日発行
 定価一ケ年三百円、一部三十円

編集人 ポール・C・アンドラス

発行所 東京都港区広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会
 北部 極東 伝道部

一九五八年三月十七日
第三種郵便物認可第二卷第五号
一九五八年五月一日発行

発行所
編集人

ホール・C・アンド・ラス

発行所

末日聖徒イエス・キリスト教会
北極東部

東京都港区麻布広尾町十四



汝ら、われと同じ業に働く僕らよ。救世主の御名によりて、われ汝らにアロンの神権を授く。こは天使の導きと恵み、悔改めの福音、罪を赦すために水に沈むるバプテスマなどの鍵を握る神権にして、まことにレビの子孫が主の御前に再び義しきに適いて捧物を捧ぐる時まで、この世より決して再び取り去らるることなし。